

# 石岡市スポーツ施設個別施設計画

石岡市スポーツ振興課



## 目次

<b>第1章 石岡市スポーツ施設個別施設計画策定の背景、目的と位置付け</b>	
1 石岡市スポーツ施設個別施設計画の背景と目的-----	1
2 石岡市公共施設等総合管理計画の概要-----	2
3 石岡市スポーツ施設個別施設計画の位置付け-----	3
<b>第2章 石岡市スポーツ施設個別施設計画の対象施設、計画期間</b>	
1 対象施設の類型、一覧表-----	4
2 計画期間-----	4
<b>第3章 石岡市スポーツ施設個別施設計画を取り巻く現状と課題</b>	
1 スポーツ施設概要-----	5
(1) 運営時間等	
(2) 利用方法	
(3) 配置状況	
(4) スペース構成	
(5) 実態把握	
(6) 評価・分析	
2 人口の現状と課題-----	19
(1) 人口推移及び将来推計	
(2) 旧中学校区（8地区）別将来人口	
(3) 各地区の人口と公共施設の状況	
3 財政の現状と課題-----	25
(1) 歳入	
(2) 歳出	
(3) 投資的経費の推移	
4 施設の現状と課題-----	28
(1) 公共施設	
(2) インフラ	
5 今後の施設の建替え・改修にかかるコスト試算-----	30
(1) 公共施設のコスト試算	
(2) インフラ資産のコスト試算	
(3) 公共施設とインフラ資産を合わせた更新コスト	

## 目 次

### 第4章 対策の優先順位の考え方（優先順位の考え方と施設評価）

1 優先順位の考え方-----	33
(1) 石岡運動公園体育館	
(2) 八郷総合運動公園	
(3) 柏原野球公園（テニス場）・サッカー場・球技公園	
(4) 石岡海洋センター	
(5) 運動広場（染谷野球場・小井戸運動広場・スポーツ少年広場）	
2 施設評価-----	36

### 第5章 個別施設の状態等（基礎資料）

1 劣化度，老朽化度調査-----	37
(1) 実態調査の方法	
(2) 調査の結果	
2 修繕等の状況-----	37
3 体育施設の運営状況-----	38
4 利用状況-----	38

### 第6章 スポーツ施設の対策内容と実施時期

1 再配置に関する基本方針-----	39
(1) スポーツ施設の地区別配置状況	
(2) 再配置に関する基本方針について	
2 保全に関する基本方針-----	40
(1) 点検・診断等の実施方針	
(2) 保全確保の実施方針	
3 工程表-----	42
4 対策費用-----	42

### 第7章 スポーツ施設の今後の方針と本計画の実現に向けて

1 今後の方針と本計画の実現に向けて-----	43
(1) 施設存続の基本的な考え方	
(2) 利用者目線の施設として	
(3) 地域の施設として	
2 計画のフォローアップ-----	43

**第1章 石岡市スポーツ施設個別施設計画策定の背景、目的と位置付け**

**1. 石岡市スポーツ施設個別施設計画の背景と目的**

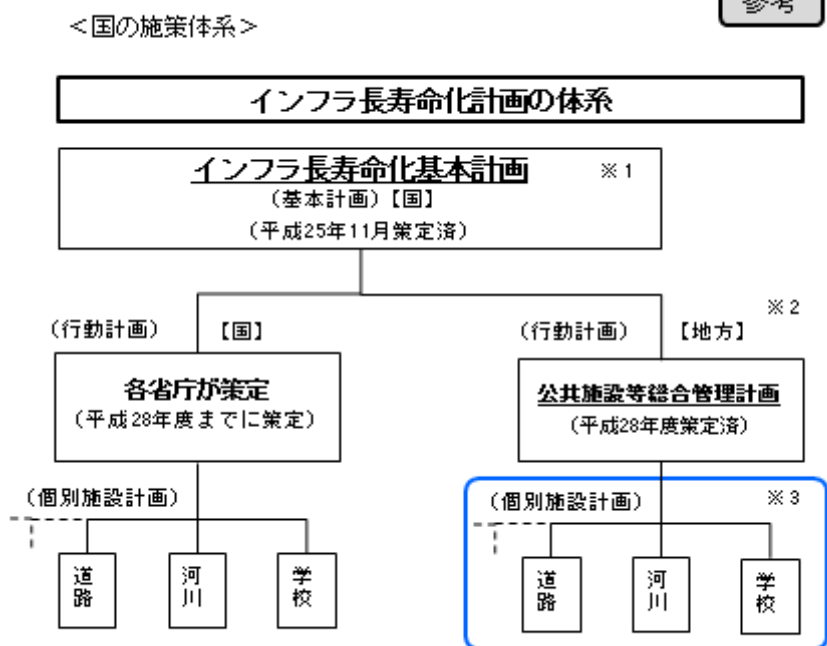
本市は、平成17年10月の合併後、結果的に用途目的の重複や老朽化が著しい公共施設を多数保有することになりました。また、本市の人口は、平成7年の8.3万人をピークに減少に転じており、少子高齢化も進んでいます。さらに、普通交付税算定の特例(合併算定替)の終了により、交付税が平成28年度から段階的に減額される中、公共施設に対して、維持管理や改修・改築等を計画的に続けていかないと、厳しい財政状況をますます圧迫することになり、他の行政サービスに重大な影響を及ぼすことが懸念されます。

そのため、全体的・中長期的な視点による計画的かつ戦略的な公共施設のマネジメントに取り組むべく、本市が保有する施設の基礎的情報の収集と分析を行い、さまざまな観点から実態や課題を可視化し、課題解決に向けた公共施設のあり方を検討する基礎資料として「石岡市公共施設白書」を平成27年度に作成しました。

一方、国においては、平成25年11月に「インフラ(道路・橋りょう等)長寿命化基本計画」※<sup>1</sup>(インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議決定)を定め、インフラを管理・所管する者に対し、当該施設の維持管理や更新を着実に推進するための行動計画や施設ごとの個別計画の策定を求めています。また、地方公共団体の財政負担の軽減や平準化が図られるように、保有する公共施設等の更新、統合・再編、長寿命化等を計画的に行う「公共施設等総合管理計画」※<sup>2</sup>の策定要請が、総務大臣から都道府県知事を通して全国の市町村に通知されました。

このような背景もあり、本市においても、公共施設等の総合的な管理は、効率性を追求しながら中長期にわたり計画的に取り組むべき全庁的な重要課題と考え、平成29年3月に「石岡市公共施設等総合管理計画」を策定しており、その目標達成のため「石岡市スポーツ施設個別施設計画」※<sup>3</sup>を策定いたします。

参考



出典:「公共施設マネジメントの最近の動向」(平成28年5月13日 総務省自治財政局財務調査課)より

## 2. 石岡市公共施設等総合管理計画の概要

本市の公共施設等を取り巻く課題として、老朽化した公共施設等の維持管理や更新に今後さらに多くの経費を要することが見込まれていますが、これまでの現状分析により、必要な財源を確保することは非常に困難な状況です。しかし、単に財政状況だけを捉え公共施設総量の縮減を行った場合、公共サービス水準の低下や市民生活へ与える影響が懸念されます。さらに、今後のまちづくりには、防災対応やバリアフリー化の推進、環境に配慮した取組など新たな市民ニーズへの対応や広域的な連携が重要であるため、それらを踏まえた5つの基本方針を定め、施設総量（延床面積）では、今後40年間で20%の削減を目指します。

### 5つの基本方針

#### ①計画的保全による長寿命化の推進

今後も継続して使用する施設については、これまでの「事後保全」の維持管理だけでなく、長期的な視点で計画的な修繕を行う「予防保全」の考えを取り入れ、定期的な点検や診断結果に基づく計画的な保全を実施し、公共施設等の長寿命化を推進します。

#### ②施設保有量の最適化

今後の財政状況や人口特性などに見合った適切な施設保有量の検討を行います。これまでの一施設一機能を前提とした「施設重視」の発想から、施設の多機能化や集約化等を検討する「機能重視」の発想へと転換し、施設保有量の最適化を図ります。

#### ③地区ごとの特性とニーズに応じた施設再編

各施設の利用状況や石岡地区・八郷地区の特性を踏まえながら配置の見直しを行うとともに、将来のまちづくりの視点に立った施設や機能の最適配置を進めます。

#### ④まちづくりと連動したマネジメントの推進

石岡市かがやきビジョンの将来目指すまちづくりを見据え、国・県・近隣市町と相互に施設の広域連携を進め、地区ごとの施設の配置状況を考慮したマネジメントを行います。

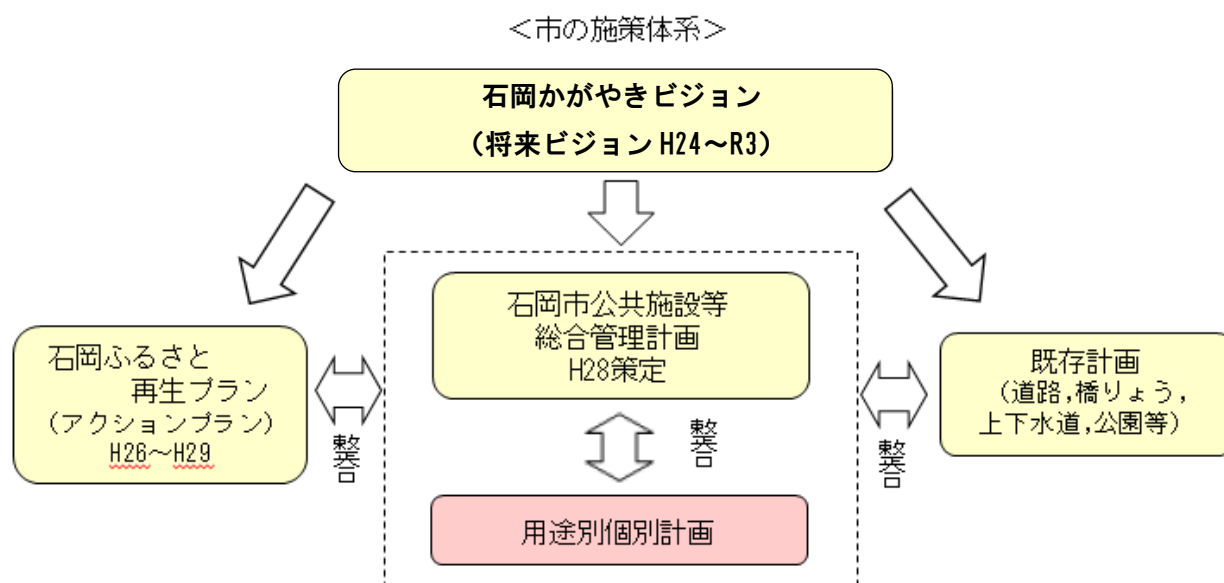
#### ⑤資産の有効活用

遊休資産や公共施設は市民共有の資産であり、維持管理や運営にかかる経費を市民全員が負担していることから、市民のための資産であることを再認識するとともに、「行政経営」の視点を取り入れ、資産の運用を行います。

### 3. 石岡市スポーツ施設個別施設計画の位置付け

「石岡市公共施設等総合管理計画」は、本市の将来ビジョンである「石岡かがやきビジョン」を下支える計画のひとつであり、また「石岡ふるさと再生プラン」と連動した各施策分野の中の施設等に関する取組の横断的な指針とし、公共施設と主要なインフラ施設に係る各個別計画が体系化された包括的なものとして位置付けています。

「石岡市スポーツ施設個別施設計画」は「石岡市公共施設等総合管理計画」と整合性を持つ下位計画であり、「石岡市公共施設等総合管理計画」をスポーツ施設について具体的に定めます。



第2章 石岡市スポーツ施設個別施設計画の対象施設、計画期間

1. 対象施設の類型、一覧表

「石岡市スポーツ施設個別施設計画」では、公共施設の用途別類型のうち、スポーツ施設（石岡市公共施設白書：P.108～124，石岡市公共施設等総合管理計画：P.41～43）を対象とします。

■ 施設一覧

名称	所在地	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	屋内施設					屋外施設									
						体育館	トレーニング室	武道館	弓道場	会議室	プール	野球場	ソフトボール場	サッカー場	陸上競技場	多目的広場	ゴルフ場	ターゲットボード	芝生広場	テニスコート
1 染谷野球場	染谷1628番地	29,854.0		昭和58	その他							●								
2 柏原野球公園	柏原11番地	17,691.0	761.00	平成8	RC造							●								●
3 柏原球技公園	柏原5番地	10,005.0	27.00	平成9	その他							●								
4 柏原サッカー公園	柏原3番地	16,563.0	54.00	平成7	RC造							●								
5 少年スポーツ広場	杉並二丁目12924番地	9,057.0		昭和56	その他															●
6 小井戸運動広場	小井戸609番地	36,376.0		昭和56	その他							●	●							
7 石岡運動公園	南台三丁目34番1号	112,856.0	6,562.00	平成2	RC造	●					●									●
8 八郷総合運動公園	野田600番地	90,672.0	3,403.00	昭和59	RC造	●	●	●	●	●										●
9 石岡市海洋センター	染谷1415番地	14,649.0	1,750.00	昭和61	RC造	●	●					●								
10 石岡小学校屋内温水プール	総社一丁目3番17号	3,187.8	1,327.00	平成12	RC造							●								
11 朝日スポーツ交流施設	柴内630番地	2,879.8	851.00	平成9	RC造	●														

※八郷総合運動公園は石岡市運動広場・石岡市農業者トレーニングセンターを含む

※延床面積の内容について

2. 柏原野球公園：野球場メインスタンド，管理事務所
3. 柏原球技公園：倉庫兼便所
4. 柏原サッカー公園：倉庫兼便所
7. 石岡運動公園：陸上競技場メインスタンド・屋外便所を含む
8. 八郷総合運動公園：農業者トレーニングセンター・武道館・弓道場・倉庫・屋外便所等を含む
9. 石岡市海洋センター：機械室を含む

2. 計画期間

本市が保有する公共施設は昭和40年代以降集中して整備してきた結果，これらが今後，築後30～50年といった改修・建替えが必要な時期を迎えることとなります。また，公共施設の質と量の最適化を図る上で，中長期的な計画のもと，人口面，財政面とも連動したマネジメントが不可欠であるため，「石岡市公共施設等総合管理計画」は平成29年度から令和38年度までの40年間を計画期間とし，10年ごとに計画内容の見直しを行うとしています。

このことから，「石岡市スポーツ施設個別施設計画」は令和2年度から令和11年度までの10年間を計画期間とし，令和8年度に行われる「石岡市公共施設等総合管理計画」の見直し後，整合性を取り更新を行います。



第3章 石岡市スポーツ施設個別施設計画を取り巻く現状と課題

1. スポーツ施設概要

本市では、スポーツを通じて健康と健全な心身の発展を図り明るく豊かな生活に寄与するためスポーツ施設を11施設設置しています。

保有機能は、体育館、トレーニング室、武道館、弓道場、会議室、プール、野球場、ソフトボール場等、様々な機能を保有しています。

(1) 運営時間等(平成29年度)

施設名	区分	運営時間	休場日	利用料金
染谷野球場	野球場	午前9時～午後5時	・月曜日 ・年末年始他	無料
柏原野球公園	野球場	午前9時～午後9時	・月曜日 ・年末年始	有料
	テニスコート	午前9時～午後9時	・月曜日 ・年末年始	有料
柏原球技公園	野球場	午前9時～午後5時	・月曜日 ・年末年始	有料
柏原サッカー公園	サッカー場	午前9時～午後5時	・月曜日 ・年末年始	有料
少年スポーツ広場	グラウンド	午前9時～午後5時	・月曜日 ・年末年始他	無料
小井戸運動広場	野球場	午前9時～午後5時	・月曜日 ・年末年始他	無料
石岡運動公園体育館	多目的広場	午前8時30分～午後5時	・月曜日 ・年末年始他	有料
	陸上競技場	午前9時～午後5時	・月曜日 ・年末年始他	有料
	体育館	午前9時～午後10時	・月曜日 ・年末年始他	有料
八郷総合運動公園	プール	午前9時～午後5時(7月中旬～8月)	・月曜日他	有料
	多目的広場	午前9時～午後7時(4～10月)	・月曜日 ・年末年始他	有料
		午前9時～午後5時(11～3月)	・月曜日 ・年末年始他	有料
	武道館	午前9時～午後10時	・月曜日 ・年末年始他	有料
	弓道場	午前9時～午後10時	・月曜日 ・年末年始他	有料
	ターゲットバード ゴルフ場	午前9時～午後7時(4～10月)	・月曜日 ・年末年始他	有料
		午前9時～午後5時(11～3月)	・月曜日 ・年末年始他	有料
	体育室	午前9時～午後10時	・月曜日 ・年末年始他	有料
トレーニング室	午前9時～午後10時	・月曜日 ・年末年始他	有料	
石岡市海洋センター	プール	午前9時～午後6時30分(7月中旬～8月)	・月曜日 ・年末年始	有料
	体育館	午前9時～午後10時	・月曜日 ・年末年始	有料
石岡小学校屋内温水プール	プール	午前9時～午後9時	・月曜日 ・年末年始他	有料
朝日スポーツ交流施設	体育室	午前9時～午後10時	・月曜日 ・年末年始他	有料

### 第3章 石岡市スポーツ施設個別施設計画を取り巻く現状と課題

#### (2) 利用方法

①使用前もしくは使用当日に「使用許可申請書」を提出し、使用料を納めます（施設により異なる）。使用料は、基本的に有料で、施設により市内在住者は無料になる施設もあります。主な休場日は月曜日及び年末年始で、個々の施設の条件は下記のとおりです。

【染谷野球場，少年スポーツ広場，小井戸運動広場，石岡市海洋センター（体育館）】

使用5日前に「使用許可申請」を提出，市内在住在勤者のみ使用可

【柏原野球公園・球技公園，柏原サッカー公園，石岡運動公園体育館，八郷総合運動公園（プールを除く），朝日スポーツ交流施設】

使用5日前に「使用許可申請」を提出

【八郷総合運動公園（プール）】

個人：申請書省略，団体：5日前までに申請書

【石岡市海洋センター（プール），石岡小学校屋内温水プール】

使用許可申請なし。使用料は当日納める。

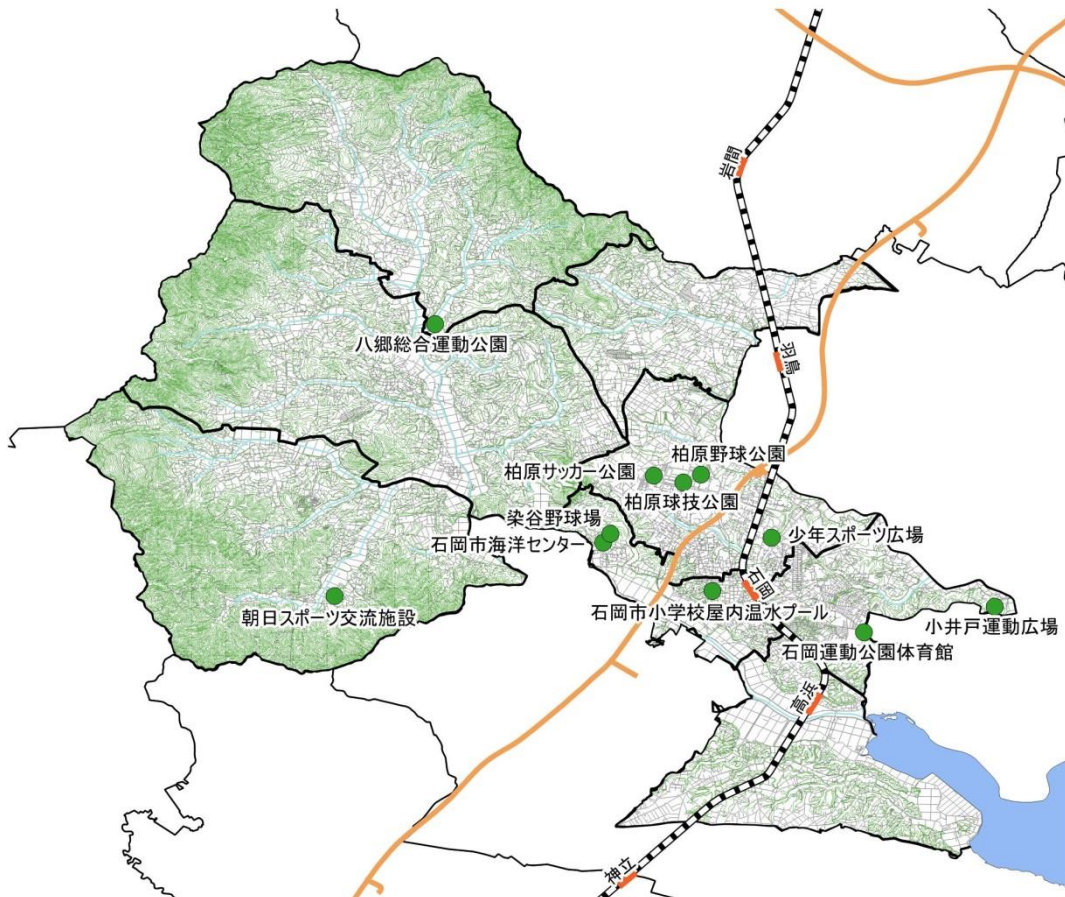
※プール以外の施設で，利用がない場合には，当日申請，使用料納付で受付可能（個人利用）

②広域連携施設（石岡小学校屋内温水プール，海洋センター）平成29年4月施行～

石岡市，行方市，小美玉市及び茨城町における公の施設の広域利用に関する条例を制定しており，石岡市民だけでなく，行方市，小美玉市，茨城町の住民が使用できます。

#### (3) 配置状況

図 位置図



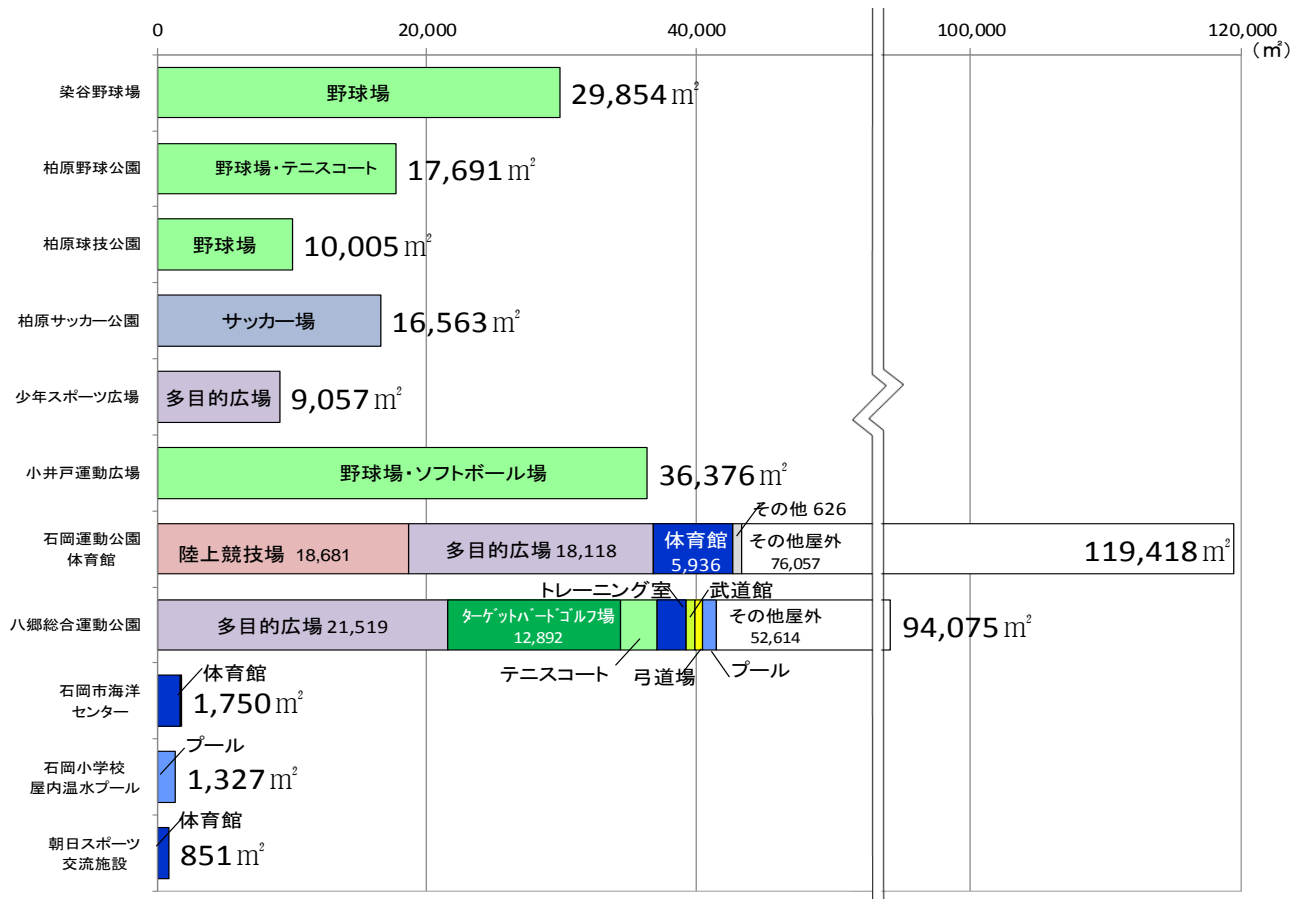
### 第3章 石岡市スポーツ施設個別施設計画を取り巻く現状と課題

#### (4) スペース構成

スポーツ施設は多様な施設があります。特に規模の大きい施設としては、石岡運動公園体育館が広場等も含め、11万9,418㎡となっており、ここに陸上競技場を含みます。これに八郷総合運動公園、小井戸運動広場、染谷野球場が続きます。

屋内体育館は4施設あり、石岡運動公園が5,936㎡で、その他は1,000～2,000㎡程度の規模になっています。また、八郷総合運動公園は、武道館や弓道場なども備えています。

図 スペース構成（平成29年度）



※柏原野球公園はテニスコートを含みます。

石岡運動公園体育館の総面積は、敷地面積と体育館（延床面積）等建物延床面積の合計です。

石岡市海洋センターはプールを含みます。

八郷総合運動公園の総面積は、敷地面積と建物延床面積の合計です。

### 第3章 石岡市スポーツ施設個別施設計画を取り巻く現状と課題

#### (5) 実態把握

##### ①建物状況

##### ■ スポーツ施設の建物総合評価結果

平成27年度のスポーツ施設のうち、屋内施設の建物状況について評価を行いました。

No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化			③劣化状況	④バリアフリー対応						⑤環境対応			⑥維持管理 床面積当たり (円/㎡)		
		建築年度	延床面積(㎡)	耐震診断・耐震改修	築年数	直近の大規模改修	大規模改修後経過年数	劣化問診票回答評価	エレベーター※1	車いす用トイレ	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費
1	石岡運動公園体育館	平成2	6,562	不要	25	-	25	○	×	○	○	○	○	○	×	△	1,753	3,152	9	
2	八郷総合運動公園	昭和59	3,403	不要	31	-	31	△	×	△	△	×	△	×	×	×	1,562	2,128	351	
3	石岡市海洋センター	昭和61	1,750	不要	29	-	29	○	×	×	×	×	×	×	×	×	1,389	2,083	458	
4	石岡小学校屋内温水プール	平成12	1,327	不要	15	-	15	△	×	○	○	○	△	○	×	×	10,814	13,717	3,156	
5	朝日スポーツ交流施設	平成9	851	不要	18	-	18	○	×	×	×	×	×	×	×	×	504	361	133	

記載例	③	○:劣化がみられないもの △:一部に劣化がみられるもの・不明 ×:屋根・外壁等の重要部位に劣化がみられるもの	④	○:実施済 △:一部実施・不明	※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等 ※2 節水型便器, 高効率照明器具・LED照明, 雨水・中水設備 ※①の「不要」には, 耐震診断の結果耐震補強が不要な施設と, 新耐震基準施設のため不要な施設が含まれる。 ※⑥のコストは平成26年度データによる。
	⑤	×:未実施	⑥の凡例	□:用途平均値の1.4倍以上のもの	

八郷総合運動公園は築30年を超えており、老朽化対策が必要と考えられます。

劣化問診票調査の結果からは、部分的な劣化の指摘はありますが、概ね良好です。

バリアフリー化については、石岡運動公園体育館や石岡小学校屋内温水プールではかなり進んでいますが、他の施設ではあまり進んでいないため、更新等の機会に対策が望まれます。

このほかに維持管理経費が割高となっている施設として、石岡小学校屋内温水プールがあります。老朽化による修繕費の増加や効率の悪い設備がないかなどの検証が望まれます。

### 第3章 石岡市スポーツ施設個別施設計画を取り巻く現状と課題

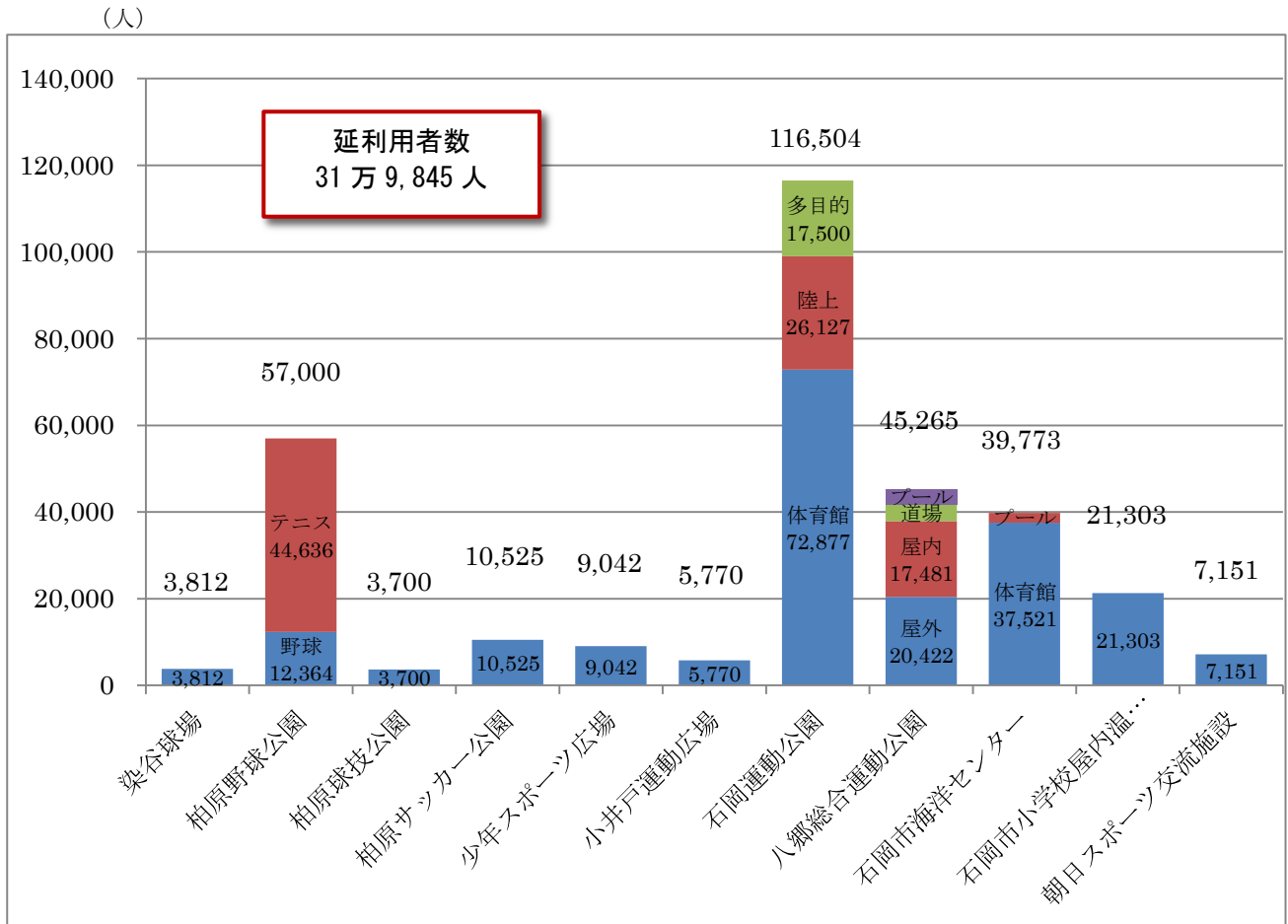
#### ②利用状況

##### ■ 全体の利用状況

スポーツ施設全体の年間延べ利用者数は31万9,845人となっています。

施設別にみると、石岡運動公園体育館が最も多く、11万6,504人となっています。このうち体育館の利用が7万2,877人で、合計の7割弱を占めています。次いで柏原野球公園が5万7,000人となっています。

図 施設別利用者数（平成29年度）



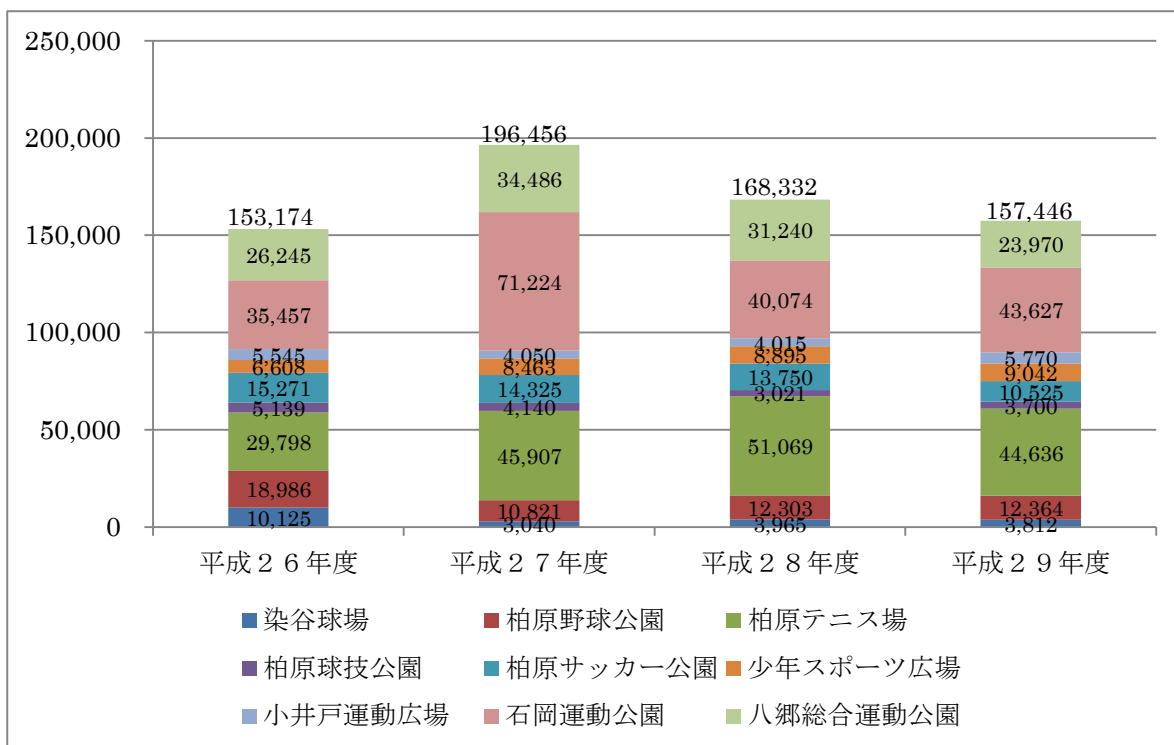
### 第3章 石岡市スポーツ施設個別施設計画を取り巻く現状と課題

#### ■ 屋外施設利用状況

屋外施設全体の利用者数の推移をみると、平成26年度が15万3,174人に対し、平成29年度は15万7,446人と、やや増加していますが、年度によるばらつきから増減の傾向はみえず、全体としては横ばいと考えられます。

図 施設別・年度別利用者数

(人)



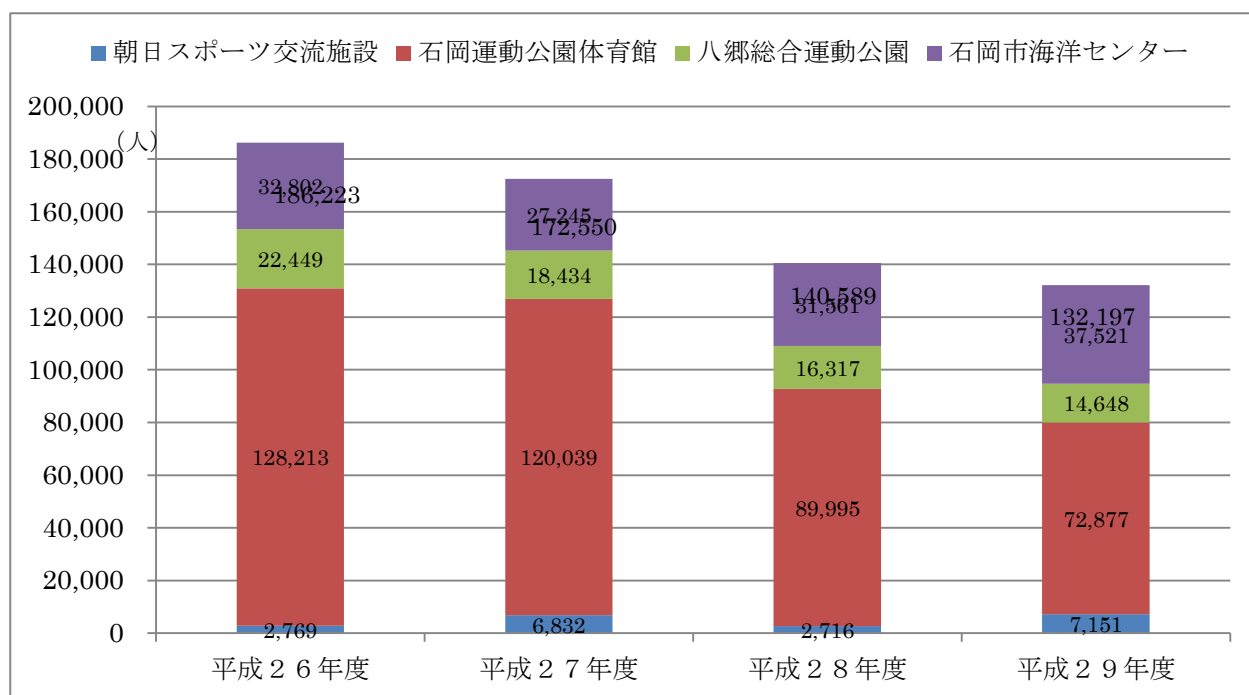
### 第3章 石岡市スポーツ施設個別施設計画を取り巻く現状と課題

#### ■ 体育館等利用状況

体育館等の利用者数推移をみると、平成26年度に18万6,223人だったのが減少を繰り返し、平成29年度には13万2,197人まで減少しています。

各利用者数推移をみると、石岡運動公園体育館は、平成26年度の12万8,213人から平成29年度には7万2,877人へと大きく減少しています。他の3施設は概ね横ばいとなっています。

図 体育館等 利用者数推移

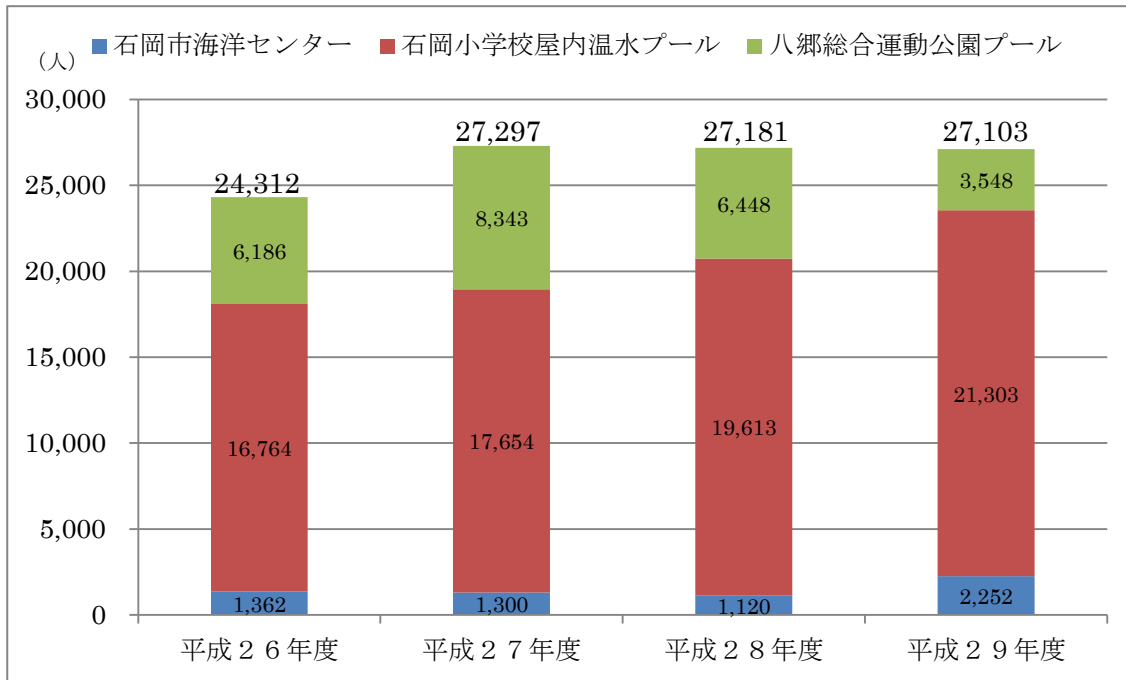


### 第3章 石岡市スポーツ施設個別施設計画を取り巻く現状と課題

#### ■ プール施設利用状況

プール施設の利用者数推移をみると、平成26年度は2万4,312人だったものが、平成29年度は2万7,103人に増加しています。これは、石岡小学校屋内温水プール利用者が、平成26年度から平成29年度にかけて4,539人増加しているためです。

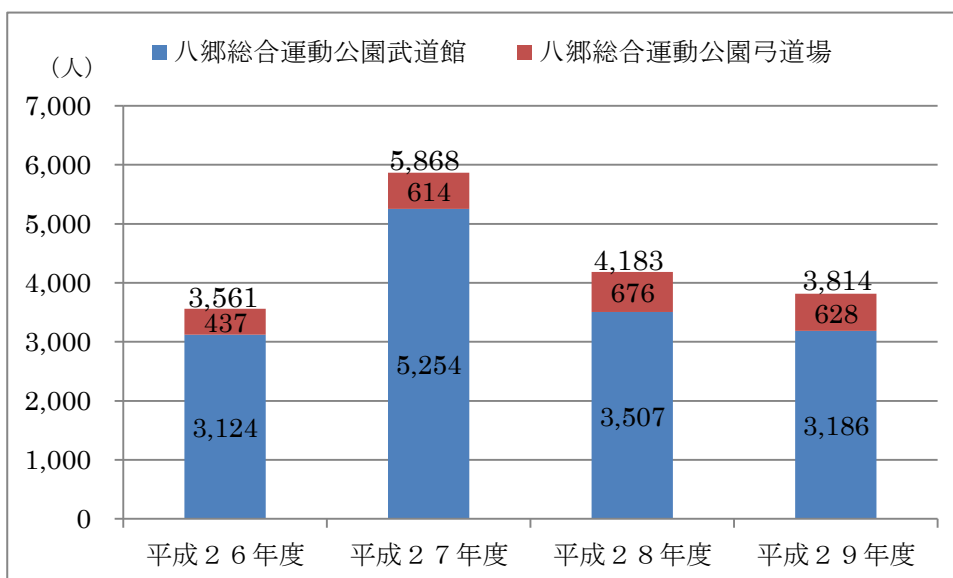
図 プール施設 利用者数推移



#### ■ 道場利用状況

八郷総合運動公園の武道館と弓道場の利用者数推移をみると、両施設とも平成27年度に利用者が増加しています。その後、武道館は減少傾向、弓道場については概ね横ばいで推移しています。

図 道場 利用者数推移





### 第3章 石岡市スポーツ施設個別施設計画を取り巻く現状と課題

#### ③ 運営状況

##### ■ 運営人員

各施設の管理運営形態は、染谷野球場、少年スポーツ広場、小井戸運動広場、石岡運動公園体育館、八郷総合運動公園、朝日スポーツ交流施設の6施設が直営で、このうち石岡運動公園体育館の屋外施設は管理委託方式です。石岡市海洋センター及び石岡小学校温水プールは管理委託方式、柏原野球場・球技公園・サッカー公園は指定管理方式です。

表 運営人員（平成29年度）

（人）

		染谷 野球場	柏原 野球場公園	柏原 球技公園	柏原 サッカー 公園	少年 スポーツ 広場	小井戸 運動広場
管理運営形態		直営	指定管理	指定管理	指定管理	直営	直営
施設維持管理	一般職員	0.2				0.2	0.2
	再任用職員						
	臨時職員		1.6	0.2	0.2		
	その他職員		0.6	0.2	0.2		
	その他職員(委託)						
	計	0.2	2.2	0.4	0.4	0.2	0.2
施設利用に関する受付・案内	一般職員						
	再任用職員						
	臨時職員		1.0				
	その他職員(委託)						
	計		1.0				
合計	一般職員	0.2				0.2	0.2
	再任用職員						
	臨時職員		2.6	0.2	0.2		
	その他職員		0.6	0.2	0.2		
	その他職員(委託)						
	合計	0.2	3.2	0.4	0.4	0.2	0.2

		石岡 運動公園 体育館	八郷総合 運動公園	石岡市 海洋 センター	石岡小学 校屋内温 水プール	朝日 スポーツ 交流施設	合計
管理運営形態		直営一部 管理委託	直営	管理委託	管理委託	直営	
施設維持管理	一般職員	0.5	1.0				2.1
	再任用職員	1.0	1.0				2.0
	臨時職員						2.0
	その他職員						1.0
	その他職員(委託)	8.0		1.0	2.0		11.0
	計	9.5	2.0	1.0	2.0		18.1
施設利用に関する受付・案内	一般職員	0.5	1.0				1.5
	再任用職員	1.0	0.8			0.2	2.0
	臨時職員						1.0
	その他職員(委託)		4.0	1.0	2.0		7.0
	計	1.5	5.8	1.0	2.0	0.2	11.5
合計	一般職員	1.0	2.0				3.6
	再任用職員	2.0	1.8			0.2	4.0
	臨時職員						3.0
	その他職員						1.0
	その他職員(委託)	8.0	4.0	2.0	4.0		18.0
	合計	11.0	7.8	2.0	4.0	0.2	29.6

### 第3章 石岡市スポーツ施設個別施設計画を取り巻く現状と課題

#### ■ 運営体制

各施設の運営体制は下図の通り施設ごとで多様です。染谷野球場，少年スポーツ広場，小井戸運動広場，朝日スポーツ交流施設は常駐職員はありません。運営体制は，概ね1施設1～4人程度となっています。

表 運営体制（平成29年度）

柏原野球・球技・サッカー公園		8:30	17:15	22:00
	平日(火～金, 春・夏) 運営体制 2～3人	指定管理者 臨時・その他職員2～3人		野球公園のみ
	平日(火～金, 秋・冬) 運営体制 2人	指定管理者 臨時・その他職員1人 指定管理者 臨時・その他職員1人(秋冬)半日交代		野球公園のみ
	土・日曜日・祝日 運営体制 2人	指定管理者 臨時・その他職員1人(秋冬) 指定管理者 臨時・その他職員1人(秋冬)半日交代		野球公園のみ
石岡運動公園体育館		8:00 8:30	13:00	17:00 17:15 19:00 22:00
	平日(火～金) ・土・日曜日・祝日 運営体制 1～3人	一般職員 1人 再任用職員 2人(週3日勤務)		委託職員 1人(予約時)
陸上競技場	平日(火～金) ・土・日曜日・祝日 運営体制 1～2人	委託職員1人 季節によって変動		委託職員1人
八郷総合運動公園		8:30	13:00	17:00 17:15 22:00
	平日(火～金) 運営体制 1～3人	一般職員 2人 再任用職員 1人(週3日勤務)		委託職員1人
	土・日曜日・祝日 運営体制 1～3人	一般・再任用・委託業者職員3人(交代制)		委託職員1人
石岡市海洋センター		8:30	22:00	
	平日(火～金) ・土・日曜日・祝日 運営体制 2人	委託職員 2人		
石岡小学校温水プール	平日(火～金) ・土・日曜日・祝日 運営体制 4人	委託職員 4人		

### 第3章 石岡市スポーツ施設個別施設計画を取り巻く現状と課題

#### ④コスト状況

##### ■ コスト状況

スポーツ施設の年間トータルコストは、2億8,514万円です。1施設当たりの全体平均は2,592万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコストが1億3,612万円（48%）、事業運営にかかるコストが4,272万円（15%）、減価償却相当額が9,263万円（32%）、指定管理委託料が1,368万円（5%）となっています。

表 施設別行政コスト計算書（平成26年度）

（千円）

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		染谷 野球場	柏原 野球公園	柏原 球技公園	柏原 サッカー 公園	少年 スポーツ 広場	小井戸 運動広場	石岡 運動公園 体育館	八郷 総合運動 公園
施設にかかるコスト	一般職員人件費	1,486				1,486	1,486	3,717	7,434
	再任用職員人件費							2,343	2,343
	非常勤職員人件費							548	
	修繕費	164	689		2,285	164	164	62	1,193
	改修費							1,253	518
	光熱水費	21				21	21	11,506	5,316
	委託費	900				900	900	20,681	7,240
	使用料及び賃借料	3,565				3,120	2,970	277	3,474
	施設にかかるコスト	6,136	689		2,285	5,691	5,541	40,387	27,518
事業運営にかかるコスト	一般職員人件費							3,717	7,434
	再任用職員人件費							2,343	1,874
	修繕費		331	35				2,776	3,867
	委託費								4,320
	使用料及び賃借料								102
	車両・備品購入費							271	411
	負担金補助及び交付金 その他物件費	31	79		356	29	29	1,549	1,845
	事業運営にかかるコスト	31	410	35	356	29	29	10,656	19,853
指定管理委託料		5,592	3,163	4,920					
現金収支を伴うコスト 計	6,167	6,691	3,198	7,561	5,720	5,570	51,043	47,371	
【収入の部】									
収入	使用料収入		32					6,880	2,995
収入の合計			32					6,880	2,995
II. 現金収支を伴わないもの									
コスト	減価償却相当額		4,034	269	535			47,414	15,434
III. 総括									
コストの部合計(トータルコスト)		6,167	10,725	3,467	8,096	5,720	5,570	98,457	62,805
収支差額(ネットコスト)		6,167	10,693	3,467	8,096	5,720	5,570	91,577	59,810

※柏原野球公園に併設する公園管理事務所のコストは、野球公園に含まれます。

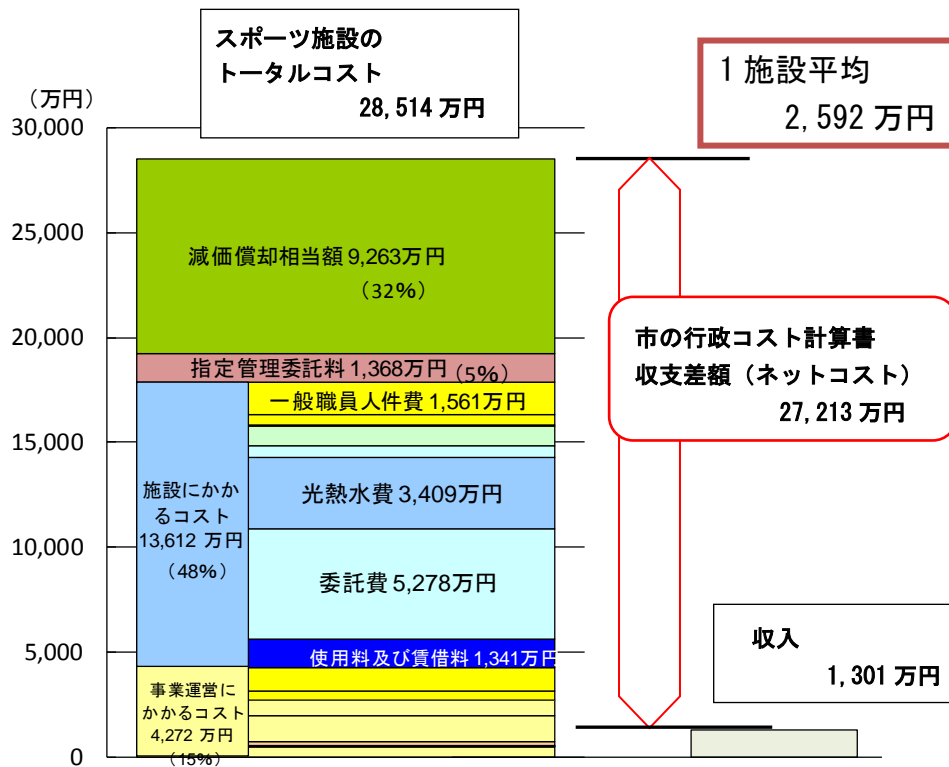
### 第3章 石岡市スポーツ施設個別施設計画を取り巻く現状と課題

(千円)

I.現金収支を伴うもの【コストの部】		石岡市 海洋 センター	石岡小学 校屋内温 水プール	朝日 スポーツ 交流施設	合計
施設にかかるコスト	一般職員人件費				15,609
	再任用職員人件費				4,686
	非常勤職員人件費				548
	修繕費	802	4,188	113	9,824
	改修費	3,402			5,173
	光熱水費	2,430	14,350	429	34,094
	委託費	3,645	18,202	307	52,775
	使用料及び賃借料				13,406
	施設にかかるコスト	10,279	36,740	849	136,115
事業運営にかかるコスト	一般職員人件費				11,151
	再任用職員人件費			469	4,686
	修繕費			173	7,182
	委託費	8,251			12,571
	使用料及び賃借料	1,490	14		1,606
	車両・備品購入費	9			691
	負担金補助及び交付金	45		32	77
	その他物件費	553	209	74	4,754
	事業運営にかかるコスト	10,348	223	748	42,718
指定管理委託料				13,675	
現金収支を伴うコスト 計	20,627	36,963	1,597	192,508	
【収入の部】					
収入	使用料収入	613	2,465	21	13,006
収入の合計		613	2,465	21	13,006
II.現金収支を伴わないもの					
コスト	減価償却相当額	11,471	7,966	5,509	92,632
III.総括					
コストの部合計(トータルコスト)		32,098	44,929	7,106	285,140
収支差額(ネットコスト)		31,485	42,464	7,085	272,134

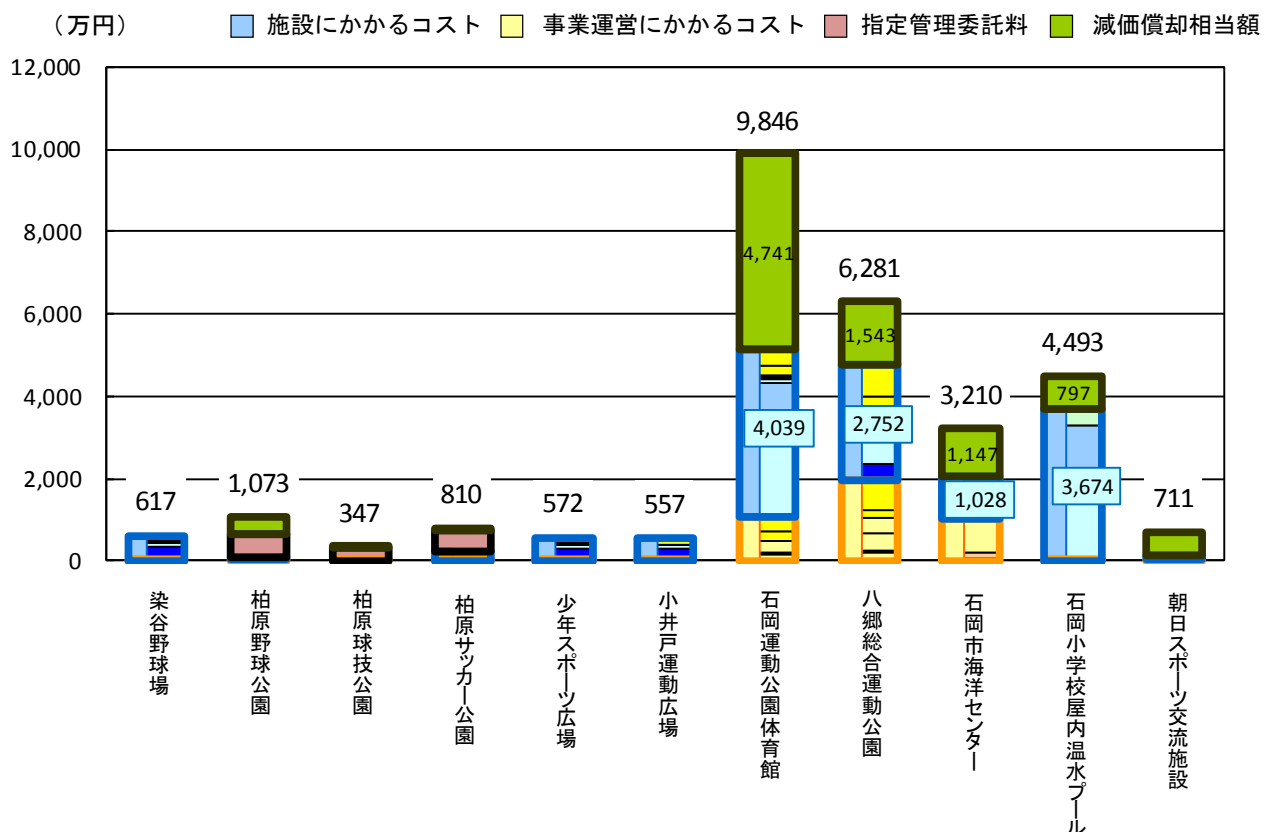
### 第3章 石岡市スポーツ施設個別施設計画を取り巻く現状と課題

図 全施設トータルコスト（平成26年度）



施設別のトータルコストでは、石岡運動公園体育館が全体の約35%を占めています。次いで八郷総合運動公園、石岡小学校屋内温水プール、石岡市海洋センターが概ね3,000万～6,000万円の範囲、その他は300万～1,000万円前後となっています。

図 施設別トータルコスト（平成26年度）



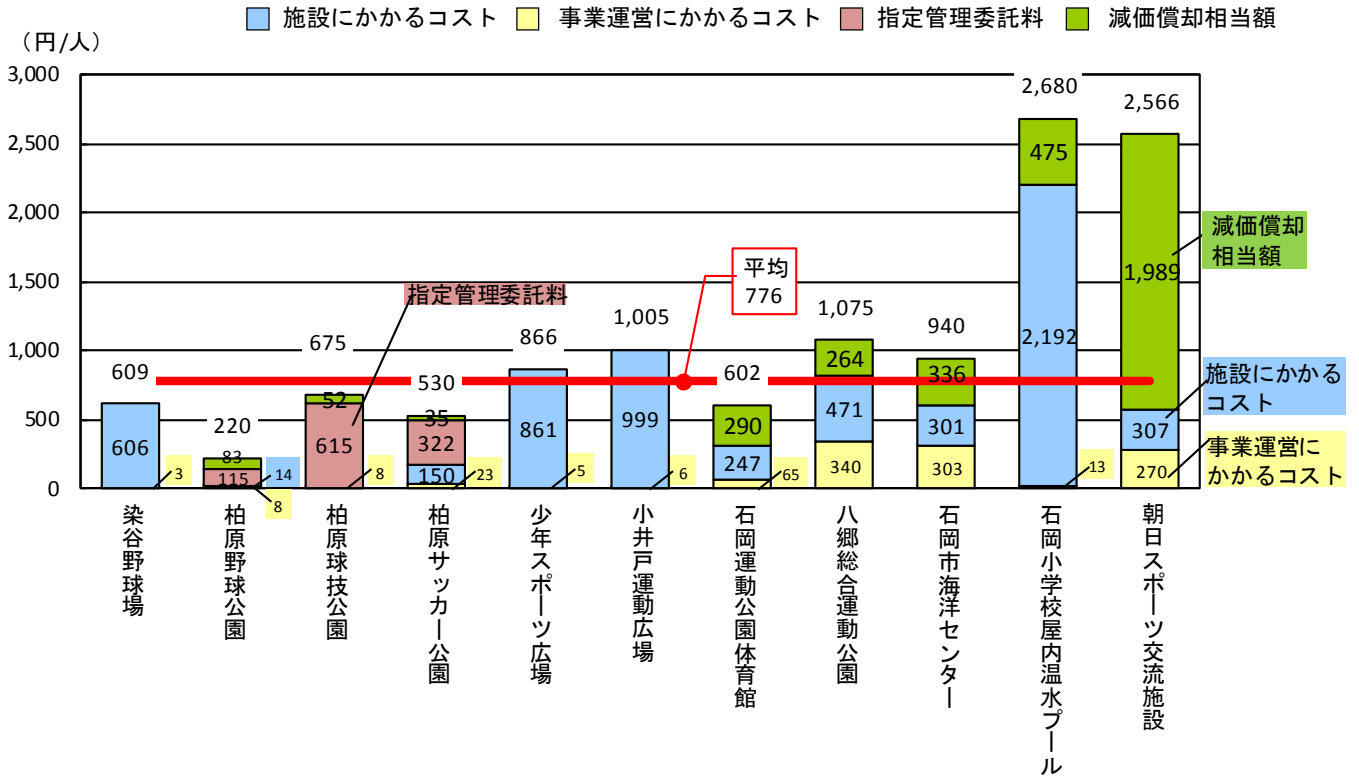
### 第3章 石岡市スポーツ施設個別施設計画を取り巻く現状と課題

#### (6) 評価・分析

##### ■ 利用者1人当たりにかかるコスト

年間利用者数とトータルコストから利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、平均は776円です。施設別では、石岡小学校屋内温水プールの2,680円/人から柏原野球公園の220円/人となっています。

図 施設別 利用者1人当たりにかかるコスト（平成26年度）



2. 人口の現状と課題

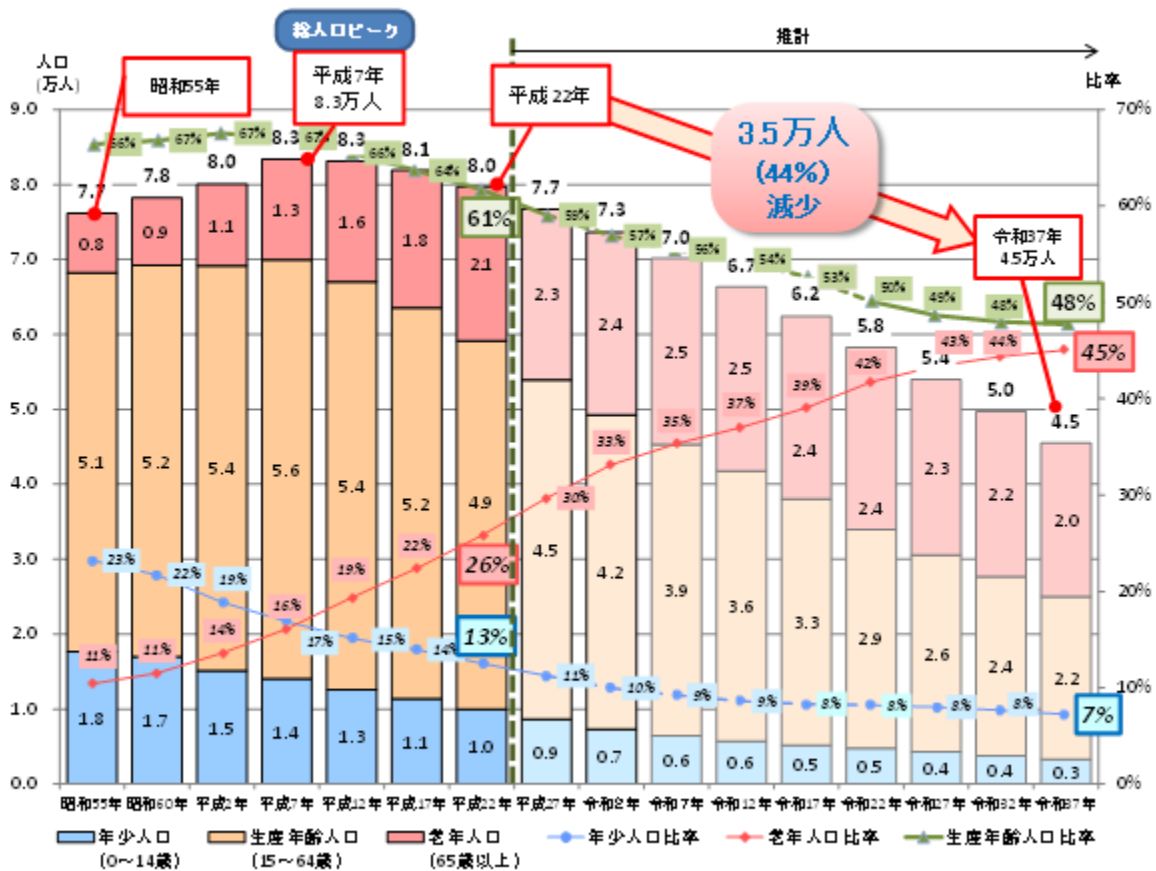
本市の人口は、平成7年の8.3万人をピークに、その後、減少に転じます。令和37年には4.5万人と、平成22年時点の8.0万人から3.5万人（約44%）減少する見込みです。  
平成28年10月現在、7万5,156人（常住人口）となっています。

(1) 人口推移及び将来推計

平成22年と令和37年の比較で市全体の人口は8.0万人から4.5万人へと約44%減少すると推計されます。年齢構成別にみると、生産年齢人口が4.9万人から2.2万人へ約55%減少、年少人口は1.0万人から0.3万人へ約70%と大幅に減少する一方、老年人口は2.1万人から2.0万人へと約5%の微減となることが推計されています。ただし、老年人口は令和12年までは約20%増加し、その後、同じ割合で減少に転じると推計されます。その中でも、75歳以上の後期高齢者人口が平成22年の1.0万人から令和12年の1.6万人へ約60%大幅に増加します。その後は、令和12年をピークに、微減傾向へと転じます。

今後40年間で人口構成が大きく変化し、求められる行政サービスの変化に対応する必要があると考えられます。

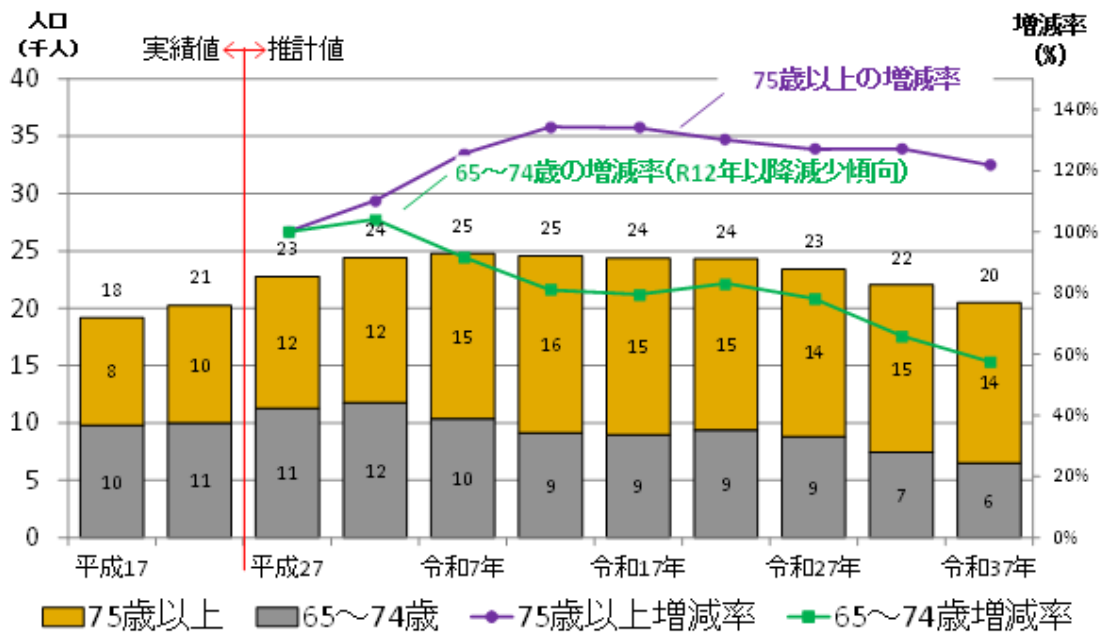
図 年齢階層別人口推移・将来推計



※ 推計は、国立社会保障・人口問題研究所の推計手法に準拠（平成22年10月1日を基準年として推計）。（施策の展開による人口増は含まず）

### 第3章 石岡市スポーツ施設個別施設計画を取り巻く現状と課題

図 老年人口推移（実績・将来推計）





(2) 旧中学校区（8地区）別将来人口

旧中学校区別（8地区）の人口推計の比較では、最大で旧有明中学校区 49.2%の減少、最小で石岡中学校区 33.3%の減少と地区によって大きな開きがあります。

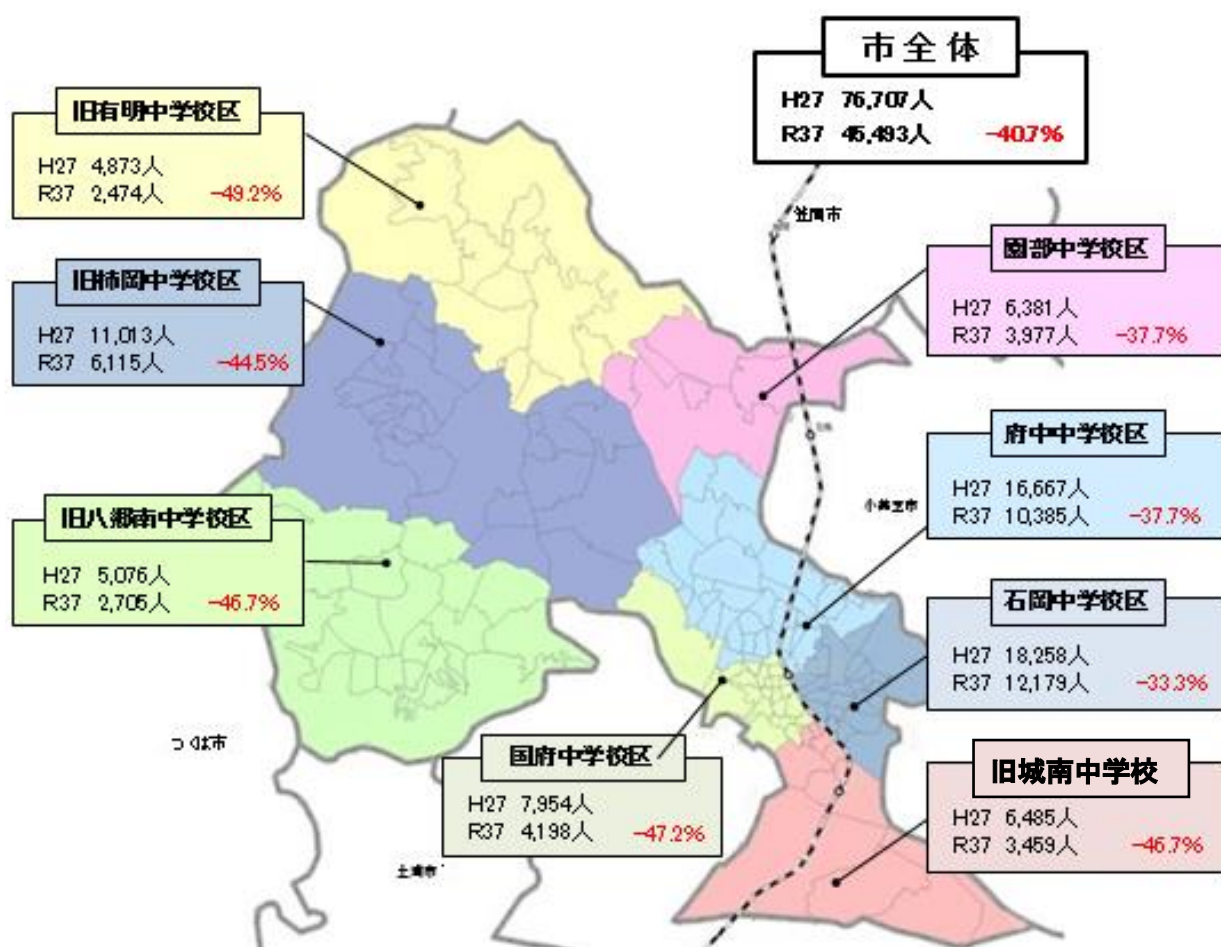
旧中学校区（8地区）別人口では、最大で石岡中学校区 1万8,258人から最小の旧有明中学校区の4,873人と人口に約3.7倍の大きな開きがあります。

また旧中学校区別の年少人口、生産年齢人口、老年人口の3つの階層の特徴として、65歳以上の比率では、最大で国府中学校区の36%から最小で石岡中学校区の24%と約12ポイントの開きがあります。

65歳以上の人口では、最大で府中中学校区の4,783人から最小の園部中学校区の1,660人と約2.9倍の開きがあります。

15歳未満の人口では、最大で石岡中学校区の2,464人から最小で旧有明中学校区の433人と約5.7倍の開きがあります。

図 旧中学校区（8地区）人口（平成27年→令和37年）



### 第3章 石岡市スポーツ施設個別施設計画を取り巻く現状と課題

表 旧中学校区（8地区）ごとの40年後の人口変化詳細（平成27年→令和37年）

旧有明	平成27年 4,873人		令和37年 2,474人		人口増減率 -49.2%
	人口	構成比	人口	構成比	増減率
老年人口(75歳～)	1,013人	20.8%	768人	31.0%	-24.2%
老年人口(65歳～74歳)	683人	14.0%	354人	14.3%	-48.2%
生産年齢人口(15～64歳)	2,744人	56.3%	1,190人	48.1%	-56.6%
年少人口(0～14歳)	433人	8.9%	162人	6.6%	-62.6%
旧柿岡	平成27年 11,013人		令和37年 6,115人		人口増減率 -44.5%
	人口	構成比	人口	構成比	増減率
老年人口(75歳～)	1,880人	17.1%	1,866人	30.5%	-0.7%
老年人口(65歳～74歳)	1,603人	14.5%	949人	15.5%	-40.8%
生産年齢人口(15～64歳)	6,428人	58.4%	2,869人	46.9%	-55.4%
年少人口(0～14歳)	1,102人	10.0%	431人	7.1%	-60.9%
旧八郷南	平成27年 5,076人		令和37年 2,705人		人口増減率 -46.7%
	人口	構成比	人口	構成比	増減率
老年人口(75歳～)	878人	17.3%	828人	30.6%	-5.7%
老年人口(65歳～74歳)	785人	15.5%	430人	15.9%	-45.2%
生産年齢人口(15～64歳)	2,915人	57.4%	1,254人	46.4%	-57.0%
年少人口(0～14歳)	498人	9.8%	193人	7.1%	-61.2%
園部	平成27年 6,381人		令和37年 3,977人		人口増減率 -37.7%
	人口	構成比	人口	構成比	増減率
老年人口(75歳～)	801人	12.6%	1,188人	29.9%	49.3%
老年人口(65歳～74歳)	859人	13.4%	574人	14.4%	-33.2%
生産年齢人口(15～64歳)	3,961人	62.1%	1,923人	48.4%	-51.5%
府中	平成27年 16,667人		令和37年 10,385人		人口増減率 -37.7%
	人口	構成比	人口	構成比	増減率
老年人口(75歳～)	2,349人	14.1%	3,151人	30.3%	34.1%
老年人口(65歳～74歳)	2,434人	14.6%	1,451人	14.0%	-40.4%
生産年齢人口(15～64歳)	9,845人	59.1%	5,005人	48.2%	-49.2%
年少人口(0～14歳)	2,039人	12.2%	778人	7.5%	-61.8%
国府	平成27年 7,954人		令和37年 4,198人		人口増減率 -47.2%
	人口	構成比	人口	構成比	増減率
老年人口(75歳～)	1,449人	18.2%	1,382人	32.9%	-4.6%
老年人口(65歳～74歳)	1,388人	17.5%	575人	13.7%	-58.6%
生産年齢人口(15～64歳)	4,368人	54.9%	1,948人	46.4%	-55.4%
年少人口(0～14歳)	749人	9.4%	293人	7.0%	-60.9%
石岡	平成27年 18,258人		令和37年 12,179人		人口増減率 -33.3%
	人口	構成比	人口	構成比	増減率
老年人口(75歳～)	1,937人	10.6%	3,736人	30.7%	92.9%
老年人口(65歳～74歳)	2,433人	13.3%	1,627人	13.4%	-33.1%
生産年齢人口(15～64歳)	11,424人	62.6%	5,911人	48.5%	-48.3%
年少人口(0～14歳)	2,464人	13.5%	905人	7.4%	-63.3%
旧城南	平成27年 6,485人		令和37年 3,459人		人口増減率 -46.7%
	人口	構成比	人口	構成比	増減率
老年人口(75歳～)	1,175人	18.1%	1,071人	31.0%	-8.9%
老年人口(65歳～74歳)	1,104人	17.0%	542人	15.7%	-50.9%
生産年齢人口(15～64歳)	3,615人	55.8%	1,607人	46.4%	-55.5%
年少人口(0～14歳)	591人	9.1%	239人	6.9%	-59.6%

### (3) 各地区の人口と公共施設の状況

#### ○旧有明中学校区

本市の総人口に占める割合は6.4%です。令和37年の人口推計は2,474人となり、平成27年の4,873人から49.2%減少する見込みとなっています。

中学校は平成25年4月に統合（有明・柿岡・八郷南中学校）され、旧柿岡中学校区に八郷中学校が新設されています。小学校は2校が配置され、いずれも1校当たり6学級の小規模校となっています。学校以外の主な公共施設の配置状況は、庁舎等として恋瀬出張所、スポーツ施設として八郷総合運動公園が設置されていて、公民館等集会施設は恋瀬地区(出張所との複合施設)・瓦会地区公民館の2施設が設置されています。いずれの公共施設も築30年以上となっています。

#### ○旧柿岡中学校区

本市の総人口に占める割合は14.4%です。令和37年の人口推計は6,115人となり、平成27年の11,013人から44.5%減少する見込みとなっています。

中学校は平成25年4月に統合（有明・柿岡・八郷南中学校）され、この地区に八郷中学校が新設されています。小学校は4校が配置され、いずれも1校当たり6学級を中心とした小規模校となっています。学校以外の主な公共施設の配置状況は、庁舎等として八郷総合支所、保健施設として八郷保健センターが設置されていて、公民館等集会施設は中央（柿岡地区）・葦穂地区・林地区公民館の3施設が設置されています。

#### ○旧八郷南中学校区

本市の総人口に占める割合は6.6%です。令和37年の人口推計は2,705人となり、平成27年の5,076人から46.7%減少する見込みとなっています。

中学校は平成25年4月に統合（有明・柿岡・八郷南中学校）され、旧柿岡中学校区に八郷中学校が新設されています。小学校は2校が配置され、いずれも1校当たり6学級の小規模校となっています。学校以外の主な公共施設の配置状況は、八郷学校給食センター、レクリエーション・観光施設としてつくばねオートキャンプ場ほか3施設、保養施設としてやさ温泉ゆりの郷ほか1施設、産業系施設としてやさ農産物直売所が設置されていて、公民館等集会施設は小幡地区・小桜地区公民館の2施設が設置されています。

#### ○園部中学校区

本市の総人口に占める割合は8.3%です。令和37年の人口推計は3,977人となり、平成27年の6,381人から37.7%減少する見込みとなっています。

中学校は園部中学校の1校です。小学校は2校が配置され、いずれも1校当たり6学級を中心とした小規模校となっています。学校以外の主な公共施設の配置状況は、庁舎等として園部出張所が設置されていて、公民館集会施設として園部地区公民館(出張所との複合施設)が配置されています。

### 第3章 石岡市スポーツ施設個別施設計画を取り巻く現状と課題

#### ○府中中学校区

本市の総人口に占める割合は21.7%です。令和37年の人口推計は10,385人となり、平成27年の16,667人から37.7%減少する見込みとなっています。

中学校は府中中学校の1校です。小学校は標準規模校が2校、小規模校が1校の合わせて3校が配置されています。学校以外の主な公共施設の配置状況は、石岡学校給食センター、スポーツ施設として柏原野球公園ほか3施設、高齢福祉施設としてふれあいの里石岡ひまわりの館ほか2施設、保健施設として石岡保健センターが設置されていて、公民館等集会施設は府中地区公民館が設置されています。また、その他集会施設として、杉並コミュニティセンターほか2施設が設置されています。

#### ○国府中学校区

本市の総人口に占める割合は10.4%です。令和37年の人口推計は4,198人となり、平成27年の7,954人から47.2%減少する見込みとなっています。

中学校は国府中学校の1校です。小学校は1校が配置され、標準規模校となっています。学校以外の主な公共施設の配置状況は、市民会館、中央図書館が設置され、スポーツ施設として染谷野球場ほか2施設、博物館等としてふるさと歴史館ほか1施設、レクリエーション・観光施設として龍神の森キャンプ場ほか3施設が設置されていて、公民館等集会施設は、国府地区公民館が設置されています。

#### ○石岡中学校区（旧城南中学校区を除く）

本市の総人口に占める割合は23.8%です。令和37年の人口推計は12,179人となり、平成27年の18,258人から33.3%減少する見込みとなっています。

中学校は石岡中学校の1校で、平成30年4月から城南中学校を統合しています。

小学校は2校が配置され、いずれも標準規模校です。学校以外の主な公共施設の配置状況は、庁舎等として市役所、スポーツ施設として石岡運動公園ほか1施設が設置されており、公民館等集会施設は、東地区公民館及び中央公民館東大橋分館の2施設が設置されています。また、その他集会施設として南台コミュニティセンター、旭台会館が設置されています。

#### ○旧城南中学校区

本市の総人口に占める割合は8.4%です。令和37年の人口推計は3,459人となり、平成27年の6,485人から46.7%減少する見込みとなっています。

中学校は城南中学校が平成30年4月に石岡中学校に統合されています。小学校は3校が配置され、いずれも1校当たり4～6学級を中心とした小規模校となっていて、統合に向けた検討がなされています。学校以外の主な公共施設の配置状況は、公民館等集会施設として城南地区公民館、中央公民館高浜分館の2施設が設置されています。また、その他集会施設として、関川地区・三村地区ふれあいセンターの2施設が設置されています。

### 3. 財政の現状と課題

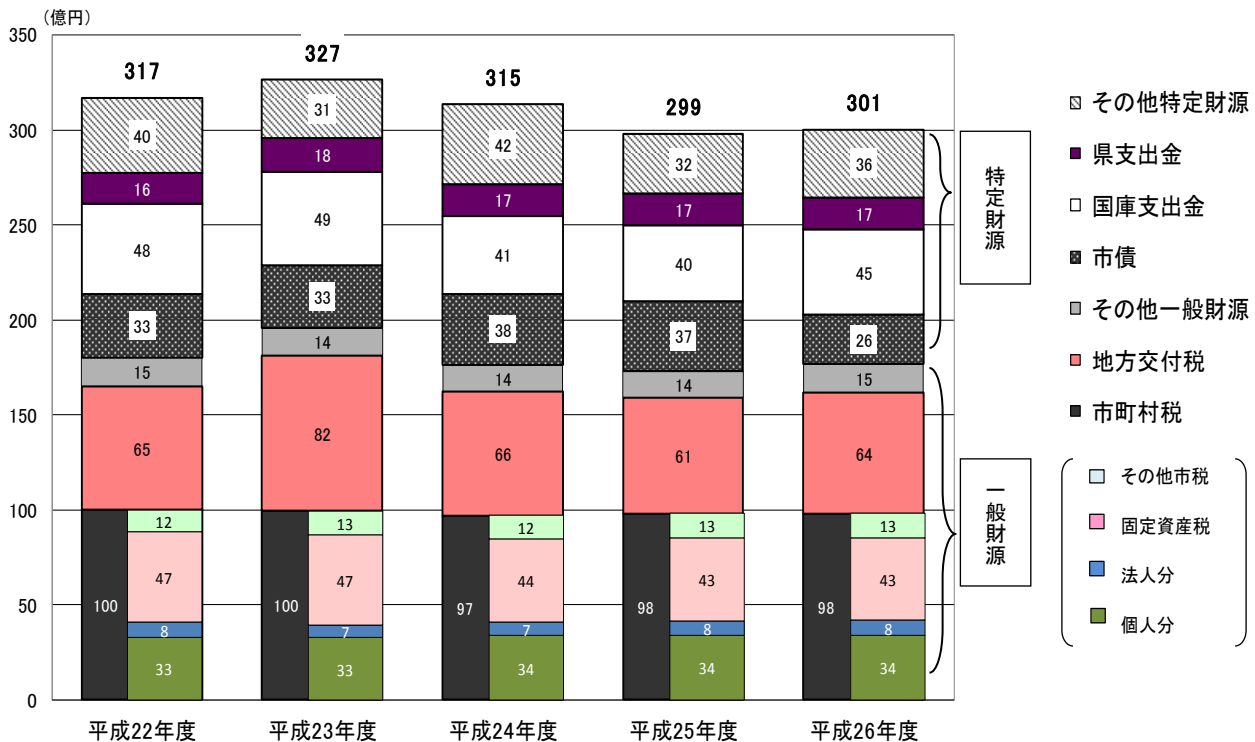
#### (1) 歳入

歳入の中で地方交付税の割合は約 20%と大きな割合を占めていますが、平成 28 年度以降は、合併特例措置が段階的に解消されることから減少が見込まれます。また、個人市民税については、将来の生産年齢人口の状況によってその増減が大きく左右されることから、これからの人口推移が本市の財政状況に大きく影響してくることが予想されます。

平成 26 年度の普通会計の歳入は、301 億円です。平成 22 年度からの 5 年間の推移を見ると、平成 23 年度には一時的に増加したものの、その後は減少傾向となっています。

市税についても、平成 26 年度では約 32%の 98 億円と大きなウエイトを占め、市の貴重な財源となっています。内訳を見ると、固定資産税が 43 億円（約 14%）を占めるほか、個人市民税も 34 億円（約 11%）と高い割合を占めています。特に個人市民税については、将来の生産年齢人口の状況によってその増減が大きく左右されることから、これからの人口推移が本市の財政状況に大きく影響してくることが予想されます。

図 歳入の推移



(出典：総務省「地方財政状況調査」)

### 第3章 石岡市スポーツ施設個別施設計画を取り巻く現状と課題

#### (2) 歳出

扶助費は、生活保護費や障害者福祉費を主要因として増加傾向にあり、平成26年度では平成22年度と比較し、歳出に占める割合が18%から21%に増加しています。財政の経常収支比率も87~90%と高い水準で推移しており、財政の硬直化が進行しています。

平成26年度の普通会計の歳出は、290億円です。歳出の推移をみると、平成22年度の303億円と比較し、13億円が減額となっています。

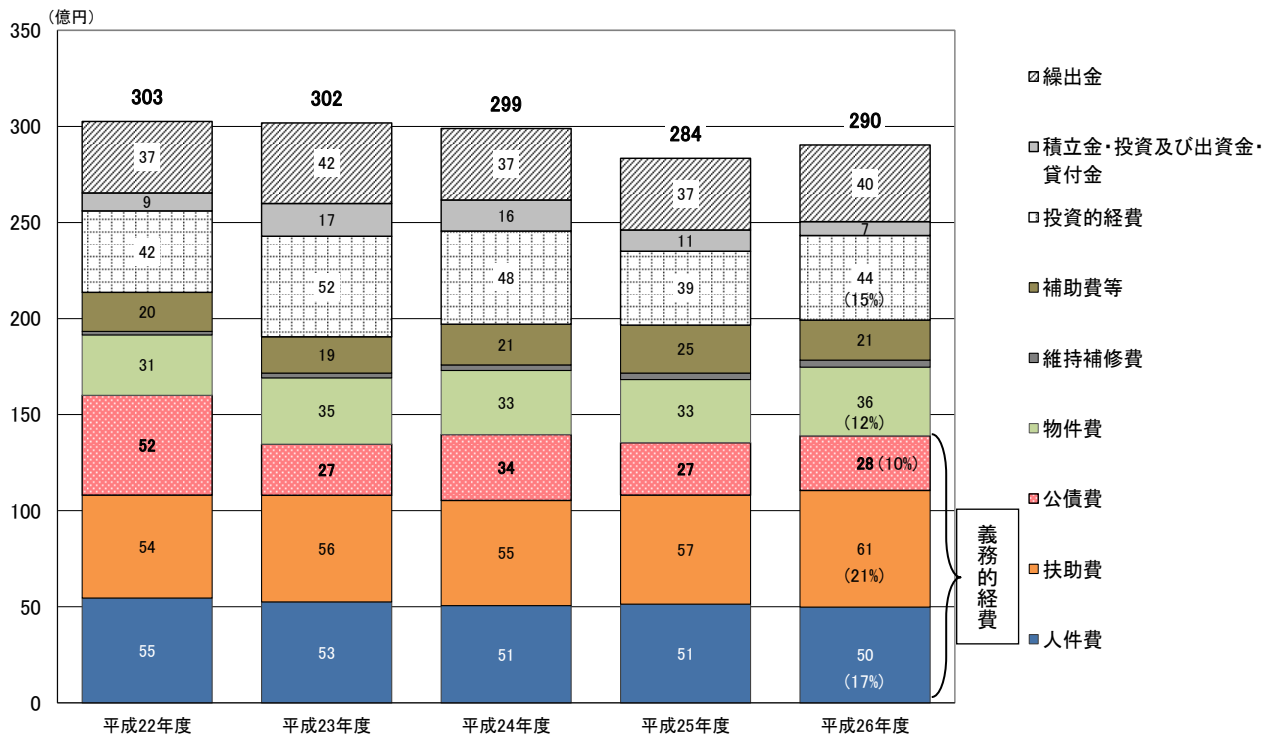
増額が目立つ項目として、「扶助費」があげられます。扶助費は、生活保護費や障害者福祉費を主要因として増加傾向にあり、平成26年度では平成22年度と比較し約1.1倍に増加し、また、歳出に占める割合も18%から21%に増加しています。

減少がみられる項目としては人件費があげられます。平成22年度の55億円から平成26年度は50億円へと、9%減少しています。

財政の経常収支比率も87~90%と高い水準で推移しており、財政の硬直化が進行しています。

将来の歳入の減少に伴い歳出の抑制・配分の見直しが不可欠です。

図 歳出の推移



(出典：総務省「地方財政状況調査」)

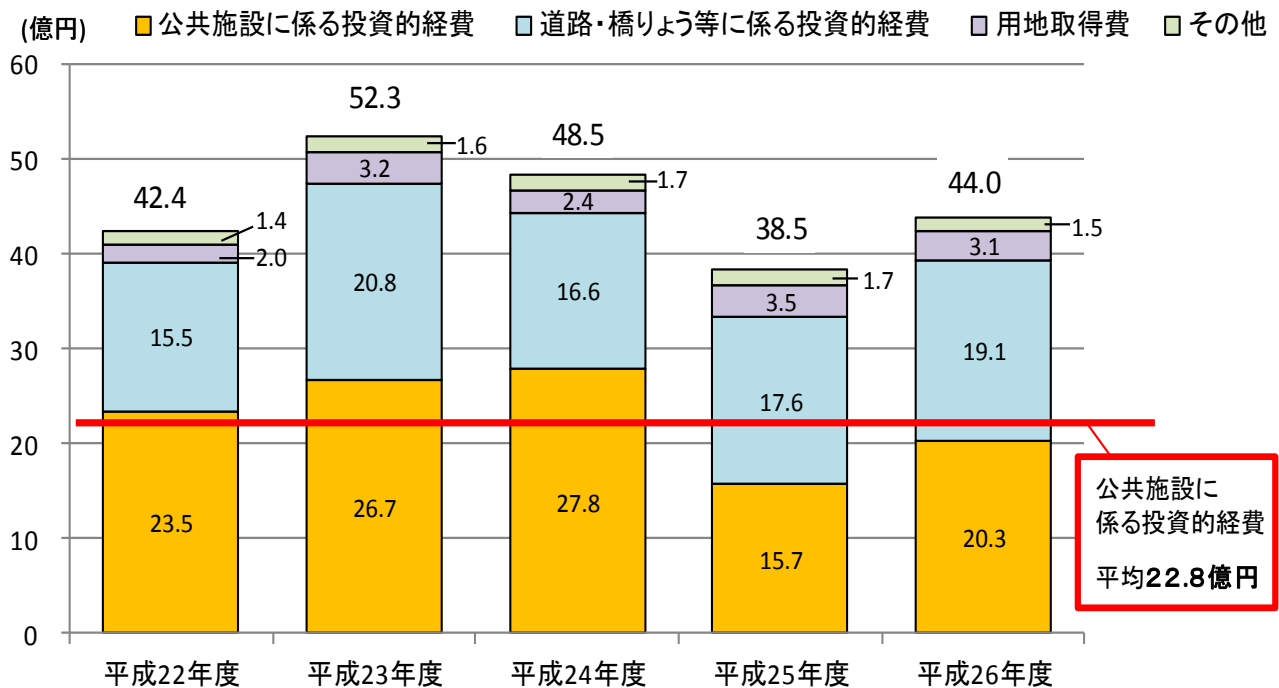
(3) 投資的経費の推移

投資的経費は、直近5年間は38～52億円の水準で推移しています。内訳をみると、道路整備や河川等のインフラ整備に15～21億円程度、公共施設等には16～28億円程度支出しています。

今後の高齢化や経済の成熟化等を踏まえると、財政面での大きな改善が見込めない中、道路整備やインフラ整備を継続する必要があるうえに、学校をはじめとする老朽化した公共施設の改修・建替え等を進めていくことが求められるため、中長期的な財政見通しと連動した計画的な公共施設に関するマネジメントが重要となります。

また、本市の歳出に占める投資的経費の割合は平成25年度では14%となっています。近隣6市の比較では、最も高い小美玉市で24%と本市の約1.7倍の割合で、最も低い桜川市で10%であり、他市比較からも本市の投資的経費の割合は、あまり高い状況とはいえません。(白書13ページ参照)

図 投資的経費の推移





### 第3章 石岡市スポーツ施設個別施設計画を取り巻く現状と課題

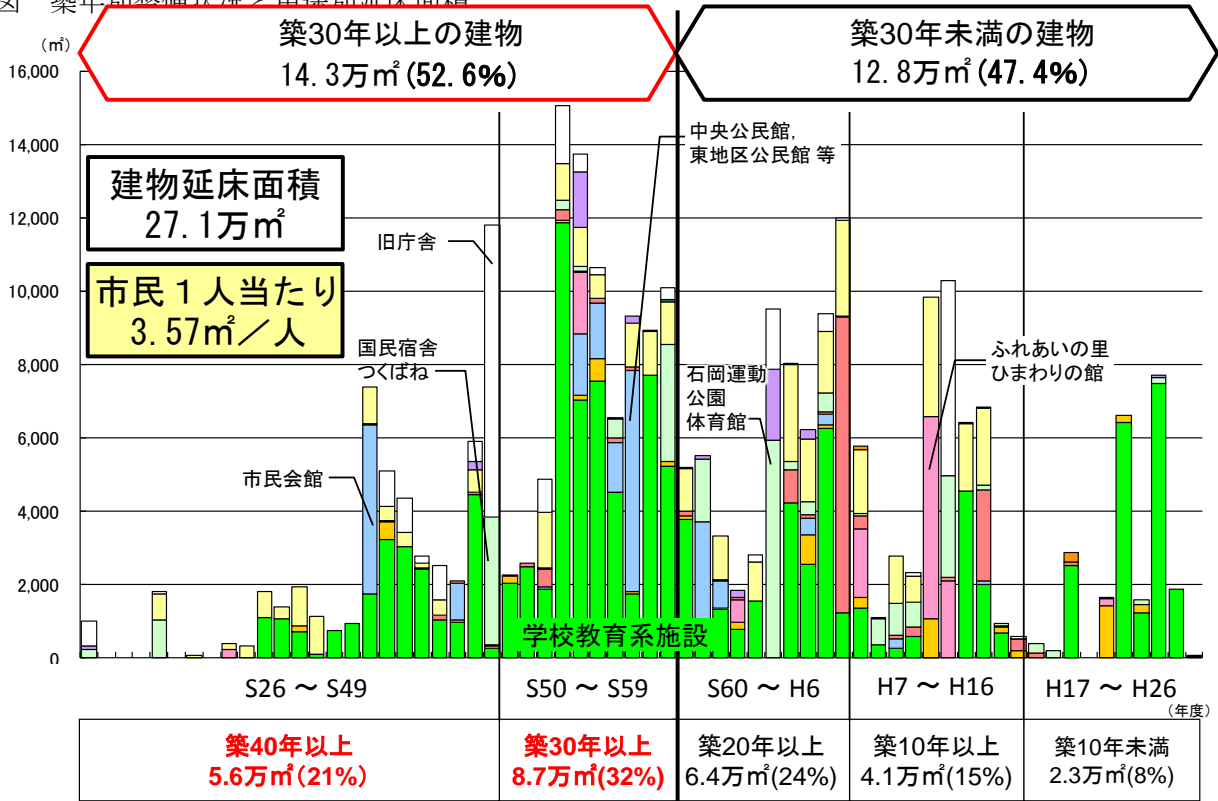
#### 4. 施設の現状と課題

##### (1) 公共施設

本市が保有する建物延床面積は約 27.1 万㎡・市民 1 人当たり 3.57 ㎡です。築 30 年以上を経過した建物は約 14.3 万㎡ (約 53%) です。学校教育系施設が公共施設全体の 54%を占めており、他の公共施設に比べ老朽化施設の割合が高くなっています。

約 27.1 万㎡の内訳として、小学校・中学校などの学校教育系施設が約 12.6 万㎡ (約 46%) となっており、その次に公営住宅が約 3.8 万㎡ (約 14%)、スポーツ・レクリエーション系施設が約 2.4 万㎡ (約 9%) の割合となっています。学校以外にも、公営住宅や公民館等市民文化系施設の老朽化が進行しており、それら施設への対応が課題となってきます。

図 築年別整備状況と用途別延床面積



用途	延床面積	割合	用途	延床面積	割合
学校教育系施設 小学校、中学校、給食センター等	125,505㎡	46.3%	保健・福祉施設 保健センター、ふれあいの里、障害者福祉施設等	12,192㎡	4.5%
公営住宅 大作台住宅、水久保住宅等	38,053㎡	14.0%	子育て支援施設 保育所、幼稚園、児童館、児童クラブ等	6,767㎡	2.5%
スポーツ・レクリエーション系施設 海洋センター、キャンプ場、やさと温泉ゆりの郷等	23,858㎡	8.8%	社会教育系施設 図書館、常陸風土記の丘等	4,587㎡	1.7%
市民文化系施設 市民会館、旭台会館、公民館、コミュニティセンター等	21,093㎡	7.8%	産業系施設 農産物直売センター、やさと農産物直売所	363㎡	0.1%
行政系施設 市役所、支所、出張所、消防施設等	14,775㎡	5.5%	その他 倉庫、公衆便所等	23,830㎡	8.8%
合計			合計		
					271,023㎡



(2) インフラ

各インフラによって、石岡地区と八郷地区で整備状況や事業者等が異なるため、各地区に応じた整備を進めていく必要があります。将来的には同一の事業者等によるサービスの提供を検討していく必要があります。

市が保有するインフラ資産（道路、橋りょう、上水道、下水道）の状況は、次のとおりです。インフラ資産も、公共施設と同様、老朽化が進んでいます。

表 インフラ整備状況

	保有状況			保有状況	
道路	一般道路	4,619,409 m <sup>2</sup>	上水道	総延長	413,034 m
	自転車歩行者道	265,860 m <sup>2</sup>		簡易水道	23,899 m
橋りょう	橋りょう	343 本	下水道	総延長	450,468 m
	橋りょう面積	15,596 m <sup>2</sup>			

それぞれの維持管理計画が策定されていますが、各所管課が別々に管理をしているため、今後は、全庁を挙げた一元的な管理が必要になります。

道路・橋りょうについては、地区ごとに交通量や通行車種の変化が出ている可能性がありますので、交通状況を把握し、必要な整備内容を特定して、計画を進めていく必要があります。

上水道については、石岡地区が湖北水道企業団、八郷地区が市営と事業者が分れています。今後、地区によって利用料等の差が出ないように、統一的な管理と財政的な措置が必要になってきます。

下水道については、下水道施設の老朽化が進んでおり、長寿命化計画に基づく更新工事や耐震化計画の策定を進めていく必要があります。また、生活排水ベストプランに基づく下水道整備地区の検討が必要となっております。

公園については、人口が減少することに伴い、住民1人当たりの公園面積が相対的に増加するため、対策を考える上で、防災公園としての機能について検討していく必要があります。

### 第3章 石岡市スポーツ施設個別施設計画を取り巻く現状と課題

#### 5. 今後の施設の建替え・改修にかかるコスト試算

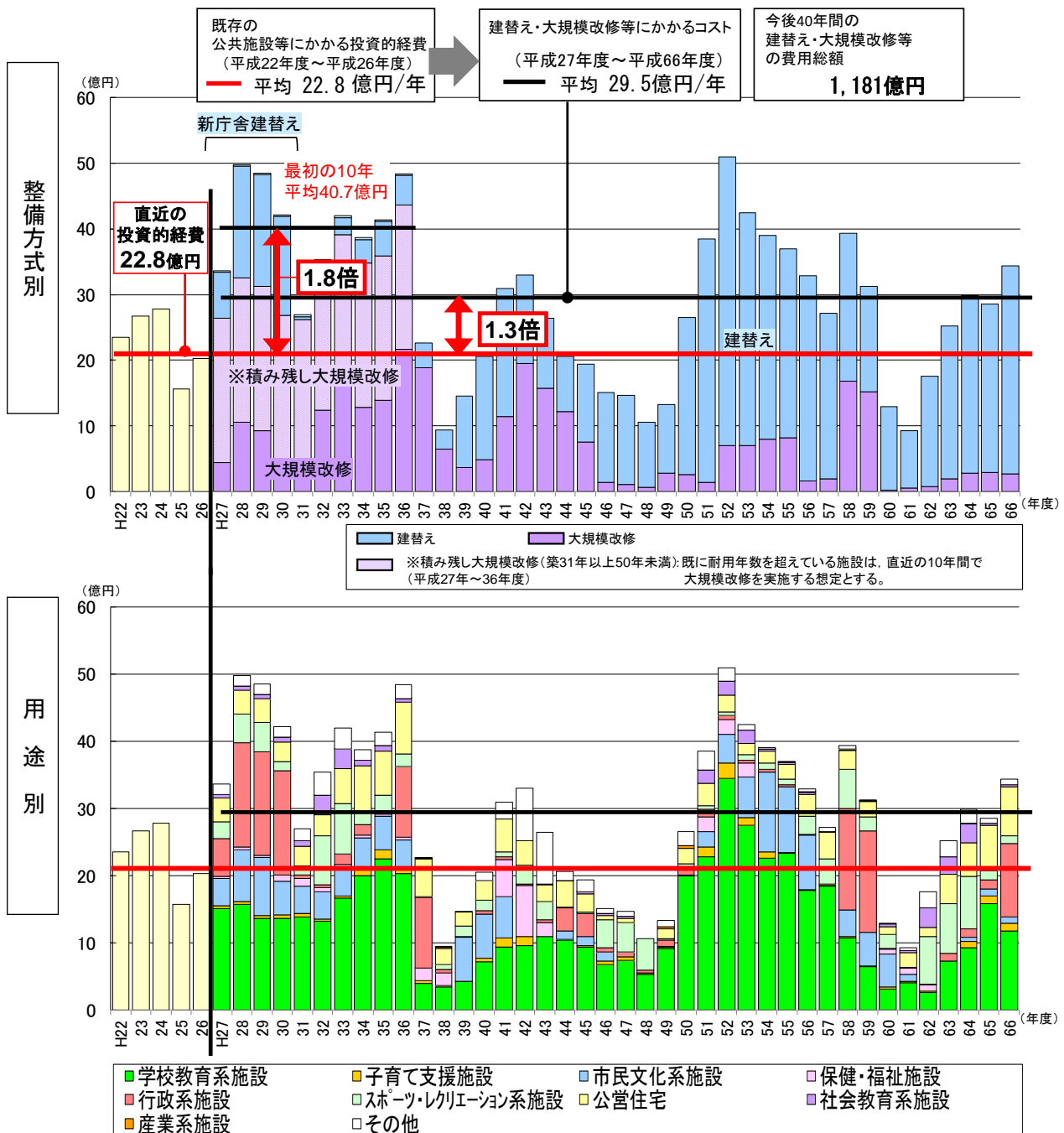
##### (1) 公共施設のコスト試算

現在保有する公共施設を全て更新すると仮定すると、今後40年間の更新費用の総額は約1,181億円になります。毎年必要な額は29.5億円となります。これは、直近5年間（平成22年度～平成26年度）で公共施設にかけてきた投資的経費の平均額である約22.8億円の1.3倍となります。

本市では、築30年から40年経過した建物が多く、そのため、当面10年間に更新費用が集中し、この期間は現状の約1.8倍の費用が必要となります。

更新時期を迎えた全ての施設を同時期に建て替えることは困難であるため、長寿命化等を行うことで年間更新費用の平準化を図るとともに、再配置の検討などにより、現状のサービスレベルを維持しながら更新費用や施設の保有量を抑制していくことが重要です。

図 今後の建替え・改修にかかるコスト試算



※ 新庁舎建設費等含む。借上げ施設及び旧庁舎の更新費を除く。図は石岡市公共施設白書から引用。

(2) インフラ資産のコスト試算

インフラ資産も、公共施設と同様、今後、耐震化及び老朽化等の維持・更新費用が必要とされています。そこで、インフラ資産の今後40年間にかかる更新費用を試算します。

<試算結果>

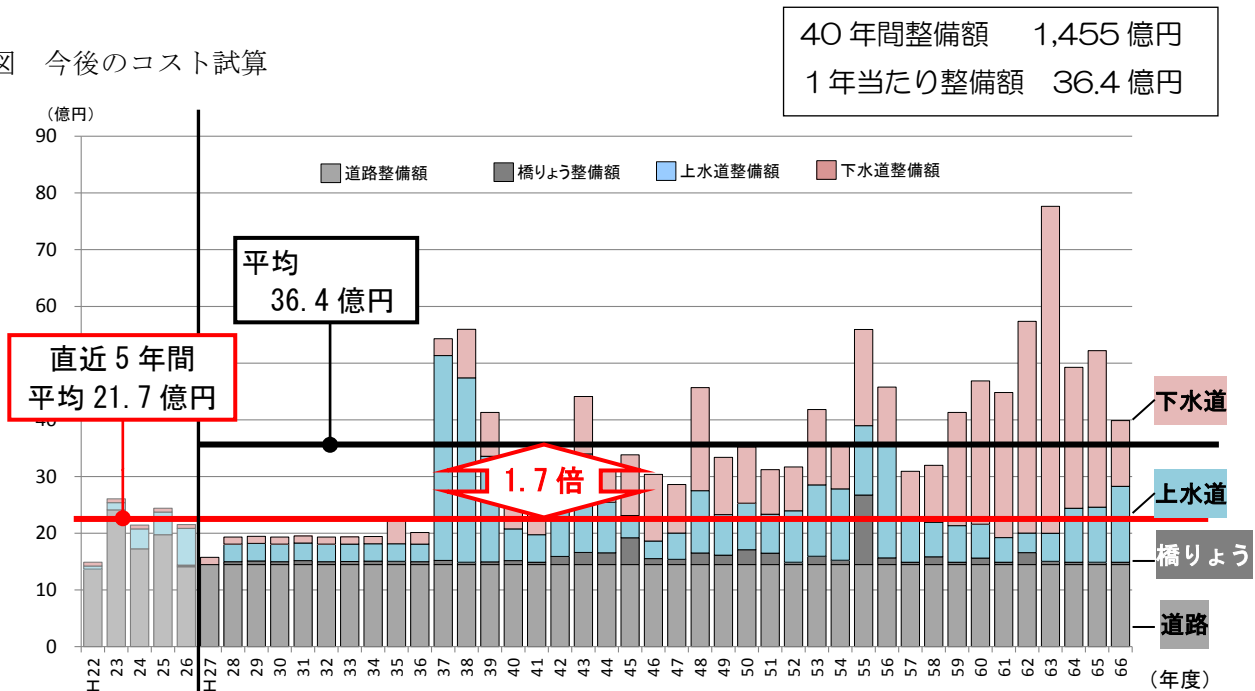
1) 道路			
40年間総額	598.1億円	年平均	15.0億円
2) 橋りょう			
40年間総額	52.9億円	年平均	1.3億円
3) 上水道			
40年間総額	350.8億円	年平均	8.8億円
4) 下水道			
40年間総額	453.2億円	年平均	11.3億円

(※端数処理をしているため、合計と一致しない場合があります。)

上記の結果、道路等のインフラ整備にかかる費用として、今後40年間の総額で1,455億円、年間平均約36.4億円が必要となる予測です。これは直近5年間の投資的経費の平均21.7億円の約1.7倍に相当します。

なお、インフラ資産については、日常生活を営むうえで最低限必要な施設であり、廃止等での費用の圧縮が難しいため、長期的な維持管理方法の見直しが今後の課題となります。

図 今後のコスト試算



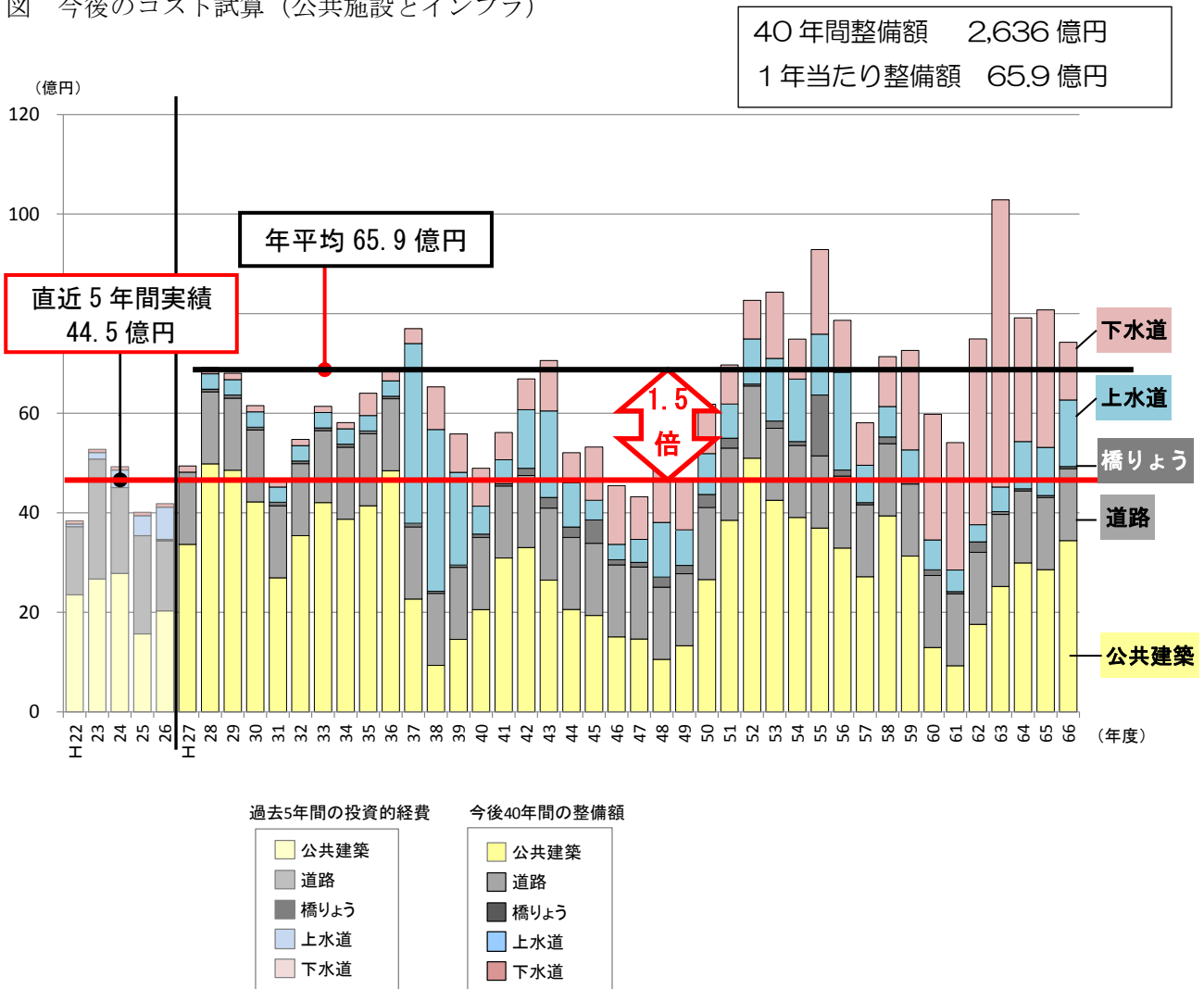
※ 図は石岡市公共施設白書から引用

### 第3章 石岡市スポーツ施設個別施設計画を取り巻く現状と課題

#### (3) 公共施設とインフラ資産を合わせた更新コスト

公共施設の建替え、改修等にかかるコスト試算とインフラ資産に係るコスト試算を合算し、本市における今後の投資的経費を見通すと、今後40年間総額で2,636億円、年平均65.9億円が必要となり、平成22年度から26年度までの5年間の投資的経費の平均額44.5億円の約1.5倍と見込まれます。

図 今後のコスト試算（公共施設とインフラ）



※ 図は石岡市公共施設白書から引用

### 第4章 対策の優先順位の考え方（優先順位の考え方と施設評価）

#### 1 優先順位の考え方

対策の優先順位は、各施設については「石岡市公共施設等総合管理計画」に基づき、安全で快適な、市民がより使いやすい施設となるよう整備を進めています。また、少子高齢化が急速に進む中で、子どもから高齢者までそれぞれのライフステージに応じて、日常的にスポーツ活動や健康づくりに取り組むことは、健康で心豊かな生活を送るうえで不可欠ですが、年齢による生活の変化などから、継続的なスポーツ活動の実践が十分とは言えないのが現状です。また、特に高齢者に顕著な傾向として、スポーツに親しむ人とそうでない人の二極化が進んでいる状況があります。

このため、市民の誰もがそれぞれの状況に応じて、いつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツに親しむことができる環境の整備が求められています。

市内にある各運動公園などの施設は、市民が日常的に利用する身近なスポーツ施設であるため、適切な管理を行っていきます。特に、石岡運動公園や八郷総合運動公園は、多くの人が各スポーツを行っているため、今後も利用しやすい施設の維持管理が必要となります。

また、高齢者や障がい者など、すべての人が利用しやすい施設となるよう、スロープの設置や段差の解消をはじめとしたバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化の導入を推進する必要があります。計画的に効率よく施設の整備や維持管理を行うことで施設の寿命を延ばしたり、利活用促進や統廃合を進めたりすることで将来負担の軽減を図り、都市経営上の健全性を維持していく「アセットマネジメント」を推進していく必要があります。

今後は、「石岡市スポーツ推進計画」に基づき、スポーツ施設の充実を図り、効率的な管理運営と市民の利便性向上に努めるとともに、多様化する市民ニーズを反映し、年間を通じて市民が自主的にスポーツに親しむことができる場の提供に努めます。

「石岡市公共施設等総合管理計画」に基づき、地区ごとの特性とニーズに応じた施設再編や、まちづくりと連動したマネジメントの推進など、各スポーツ施設の適正な管理に努めるとともに、利用者の少ない施設の利用促進など、有効活用について検討します。

#### （1）石岡運動公園体育館

○ 建築年 平成2年（築28年）

石岡運動公園体育館は平成2年に建てられ、築28年が経過していて、建物の外壁などの亀裂や、屋根の老朽化等を確認しています。また、館内の冷温水機や電気系統も老朽化が進行しています。

今後、利用者が快適に使用するために、建物及び設備の適切な管理・修繕が必要となってきます。以上のことから、優先順位は、建物の安全性を確保するため、施設の劣化等に対する老朽化対策を行うこととします。次に、利用者の利便性を図るため、設備の修繕・工事を行うこととし、長期計画による予防保全に取り組み、令和6年度に指定管理者を導入する前に保守・管理に係る建物の健全性を確保し、計画的な改修工事を行っていきます。

## 第4章 対策の優先順位の考え方（優先順位の考え方と施設評価）



### （2）八郷総合運動公園

- 建築年 農業者トレーニングセンター 昭和59年（築34年）  
プール 昭和53年（築40年）

八郷総合運動公園は、昭和50年代に建てられ、築30年以上経過しているため、建物の一部に破損や雨漏りが発生しています。特にプールは、昭和53年に建てられ、築40年が経過し、老朽化が激しい状況です。現在、八郷地区の小・中学校でプールの授業として使用しており、今後も使用校が増えると予想されます。また、毎年約40日間プールを開設し約7,000人の利用者がおり、利用者からも好評を得ています。安全・安心な施設として継続提供していくためにも、今後大規模な改修をしていく必要があります。農業者トレーニングセンターや武道館・弓道場等は、令和6年度に指定管理を導入する前に保守・管理により建物の健全性を確保し、計画的な改修工事を行ってまいります。



### （3）柏原野球公園（テニス場）・サッカー場・球技公園

- 建築年 平成8年（柏原野球公園）
- 建築年 平成9年（球技公園）
- 建築年 平成7年（サッカー場）

柏原体育施設の各施設は、平成7年～9年に大規模改修工事を実施していますが、その後約20年が経過しているため、劣化状態が深刻でないものであっても、今後の改修工事も含めた施設の維持管理に関する方針に沿って、計画的な対策を進めてまいります。



## 第4章 対策の優先順位の考え方（優先順位の考え方と施設評価）



（野球公園：野球場）



（サッカー公園：トイレ建屋）

### （4）石岡海洋センター

- 建築年 昭和 61 年（築 32 年）

海洋センターは、昭和 61 年に建てられ、築 32 年が経過していて、建物の一部に破損が生じています。令和 5 年度に指定管理を導入する前に計画的な改修工事を行っていきます。



### （5）運動広場（染谷野球場・小井戸運動広場・スポーツ少年広場）

- 建築年 昭和 58 年（染谷野球場：築 35 年）  
昭和 56 年（小井戸運動広場：築 37 年）  
昭和 56 年（少年スポーツ広場：築 37 年）

運動広場は、いずれも築 35 年以上が経過しています。染谷野球場及びスポーツ少年広場は、令和 5 年度に指定管理を導入する前に計画的な改修工事を行っていきます。また、小井戸運動広場は、関連施設の指定管理制度導入のタイミングでの廃止・返還を視野に入れた検討を進めていきます。



（染谷野球場）



（小井戸運動広場）

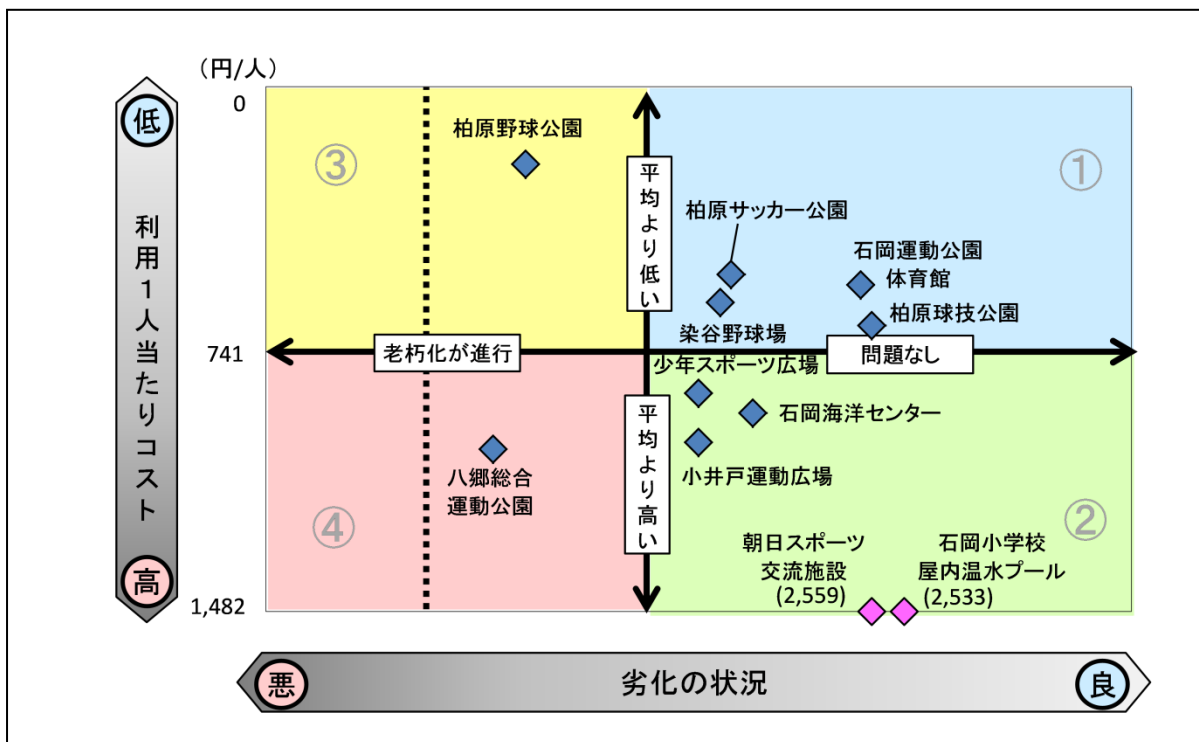
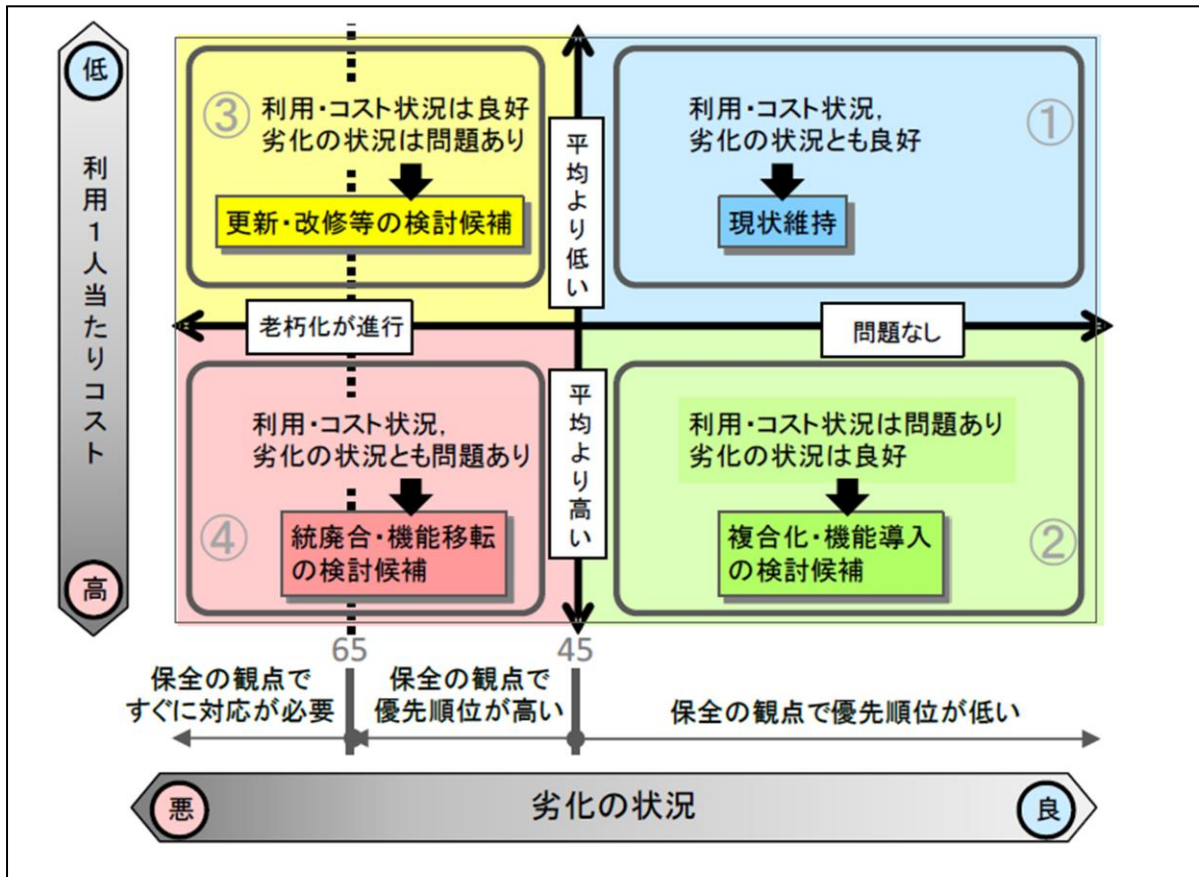


（スポーツ少年広場）

## 第4章 対策の優先順位の考え方（優先順位の考え方と施設評価）

### 2 施設評価

八郷総合運動公園は各施設とも築30年を超えていて、老朽化対策が必要と考えられます。劣化問診票調査の結果からは、部分的な劣化の指摘はありますが、概ね良好です。バリアフリー化については、石岡運動公園はかなり進んでいます。ほかの施設ではあまり進んでいないため、更新等の機会に対策が望まれます。





第5章 石岡市スポーツ施設の状態等（基礎資料）

1. 劣化度、老朽化度調査

(1) 実態調査の方法

管理担当課の職員が、管理する施設ごとに屋根・屋上、外壁等の建築と電気設備、給排水設備等について、劣化問診票により建物の劣化状況や仕様を目視で確認し、建物や設備等の工事履歴を確認しました。

また、大規模施設については、専門家による調査を行いました。

(2) 調査の結果

劣化度の調査を行った結果、石岡運動公園では目立った劣化状況はありませんでしたが、八郷総合運動公園では屋根部分に劣化がみられました。それ以外のスポーツ施設については、劣化が少ないという結果になりました。

八郷総合運動公園は、築30年以上であり、老朽化が顕著に進んでいます。築30年以上の建物は一様に雨漏り痕が多く、外壁タイルの浮きなど、緊急性を要する劣化事象が見られます。築20年頃から劣化が顕在化しており、長寿命化を鑑みた場合早急に対応する必要があります。

2. 修繕等の状況

過去3年間における主な修繕状況等は次のとおりです。

①石岡運動公園

平成29年 体育館シャワー水栓交換 499千円  
平成28年 自家発電装置修繕 459千円

②八郷総合運動公園

平成29年 テニスコート防風ネット改修 695千円  
平成28年 ウォータースライダー修繕 298千円  
平成27年 ウォータースライダー修繕 298千円

③柏原野球公園（テニス場）・球技公園・サッカー公園

平成29年 テニスコート修繕 496千円  
平成28年 球技公園合併浄化槽補修 297千円

④石岡海洋センター

平成29年 音響設備修繕 282千円  
平成28年 プールろ過機濾材交換修繕 775千円

⑤運動広場（染谷野球場・小井戸運動広場・スポーツ少年広場）

平成27年度 136,620円 スポーツ少年広場建物修繕

⑥朝日スポーツ交流施

平成27年度 体育館修繕 49千円

## 第5章 石岡市スポーツ施設の状態等（基礎資料）

### 3. 体育施設の運営状況

過去3年間の各施設の運営及び維持・管理コスト（市職員の人件費は除く）は次のとおりです。

施設名	運営方法	H27年コスト	H28年コスト	H29年コスト
石岡運動公園	直営	39,320千円	36,763千円	41,161千円
八郷総合運動公園	直営	30,816千円	74,344千円	24,502千円
柏原体育施設	指定管理	15,075千円	15,563千円	15,397千円
石岡海洋センター	委託管理	21,710千円	20,390千円	20,939千円
運動広場	直営（受付のみ指定管理）	12,800千円	12,833千円	12,833千円
石小プール	委託管理	18,247千円	18,663千円	18,731千円
朝日交流施設	直営	999千円	870千円	995千円

### 4. 利用状況

施設全体としての利用者数の推移は次のとおりです。

(人)

利用者数	H27年	H28年	H29年
石岡運動公園	191,263	130,069	116,504
八郷総合運動公園	68,343	55,402	45,265
柏原体育施設	10,887	12,303	12,364
石岡海洋センター	28,545	31,561	37,521
運動広場	15,553	16,875	18,624
石岡小学校屋内温水プール	17,654	19,613	21,303
朝日交流施設	6,832	2,716	7,151

- ・石岡運動公園が最も多く利用されています。
- ・石岡運動公園および八郷総合運動公園以外の施設は、利用者数が増加傾向です。

## 第6章 スポーツ施設の対策内容と実施時期

### 1. 再配置に関する基本方針

#### (1) スポーツ施設の地区別配置状況

「石岡市公共施設等総合管理計画」に示されたスポーツ施設の配置状況は次のとおりです。

中学校区	人口	スポーツ施設
旧有明中	4,873人	八郷総合運動公園
旧柿岡中	11,013人	なし
旧八郷南中	5,076人	朝日スポーツ交流施設
園部中	6,381人	なし
府中中	16,667人	柏原野球公園, 柏原球技公園, 柏原サッカー公園, 少年スポーツ広場
国府中	7,954人	染谷球場, 海洋センター, 石岡小学校屋内温水プール
石岡中	18,258人	石岡運動公園, 小井戸運動公園
旧城南中	6,485人	なし

#### (2) 再配置に関する基本方針について

上記「スポーツ施設の地区別配置状況」のとおり地区におけるスポーツ施設の設置状況に大きな差があり「石岡市公共施設等総合管理計画」においては「スポーツ施設」の利用の少ない施設については、同機能の施設の配置のあり方を見直すこととされていることや、個別施設を年間利用者数とトータルコストから評価・分析したデータから一定の設置目的が達成され、今後大規模な改修を伴わずに施設の向上や利用者の利便性を高めることが困難と判断された施設については統合、もしくは廃止、または移管を検討し、それぞれの必要性に応じた優先順位を付け整備計画を策定します。

整備計画の基本的な基準として

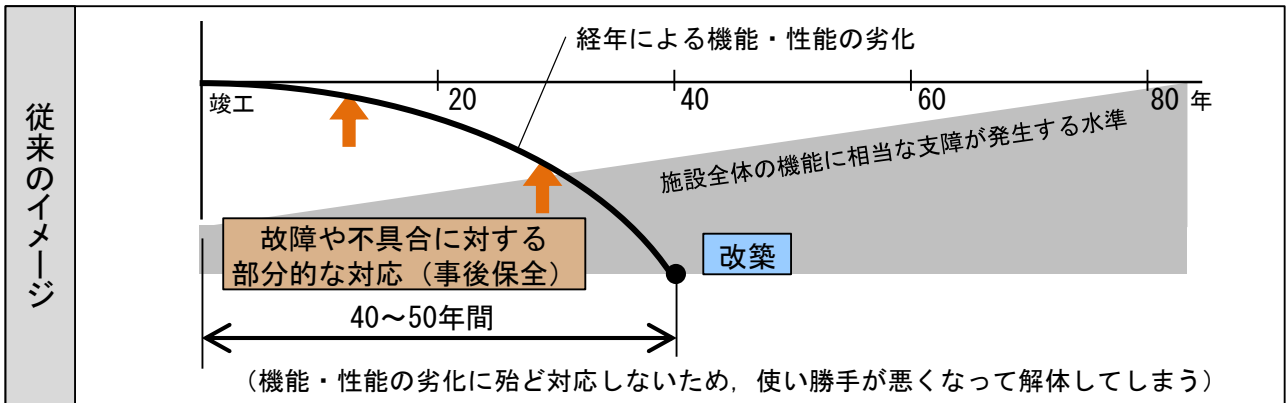
- ・複数の同類施設の統合。
- ・設置当初の目的が達成され、現状に即した廃止。
- ・設置当初の目的が達成され、現状に即した移管。

これらの要件により、施設ごとの優先順位を付け計画的に整備します。

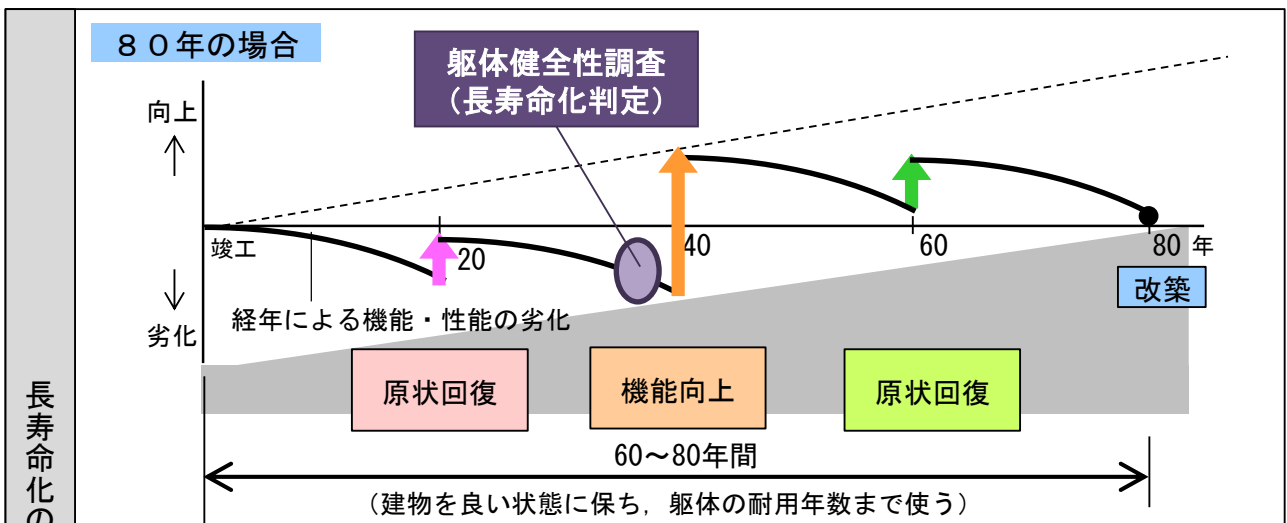
## 2. 保全に関する基本方針

保全に関する基本方針として、「石岡市公共施設等総合管理計画」に示されているように、既存の構築物を標準で60年使用し、躯体の健全性調査の結果が良好な場合には、80年使用することを目標とします。

図表 修繕、改修、建替えの標準イメージ（躯体が健全で80年まで使用できる場合）



長寿命化



参考：工事内容

築20年目 中規模修繕	築40年目 長寿命化改修	築60年目 中規模修繕
<ul style="list-style-type: none"> <li>防水改修</li> <li>外壁改修</li> <li>受変電改修</li> <li>給排水ポンプ交換</li> <li>空調機器交換 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防水改修（断熱化等含む）</li> <li>外壁改修（断熱化等含む）</li> <li>開口部改修</li> <li>内部改修（用途変更含む）</li> <li>電気設備改修</li> <li>給排水衛生設備改修</li> <li>空調設備改修（設備の配線・配管等含む）</li> <li>昇降機改修 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防水改修</li> <li>外壁改修</li> <li>受変電改修</li> <li>給排水ポンプ交換</li> <li>空調機器交換 等</li> </ul>

### (1) 点検・診断等の実施方針

本市では、建築物に不具合が発生した後に修理を実施する「事後保全」が主体であったこれまでの維持管理を転換し、定期的な点検や保守により機能を良好な状態で維持する「計画的保全」の考えを導入することで公共施設の長寿命化を推進していきます。

#### ① 法定点検の実施

建築基準法第12条では、用途や一定以上の規模の建築物について、建築物の敷地・構造・仕上げ及び建築設備について、3年ごとに状況・安全性の点検を実施することが義務付けられており、着実に実施します。

#### ② 問診票による点検・診断の実施

劣化問診票による調査を定期的に行います。また、調査結果をもとに簡易カルテを作成し、劣化の状況から整備レベル、維持管理等のメンテナンスの現状を把握します。

#### ③ 技術者（建築の専門家）による現地調査の実施

簡易カルテから特に問題のある施設については、技術者（建築の専門家）が目視・打診・触診による現地調査を行うことが必要です。劣化状況調査結果から劣化状況や劣化の原因を把握し、必要な仕様・改修方法、更新周期等の検討を行います。

### (2) 安全確保の実施方針

#### ① 施設管理者による劣化状況の把握

体育館、陸上競技場、テニスコート、バックネット、プールなど、多くの施設設備があり、日常、それぞれの施設を使い、現場で管理している施設管理者が、劣化状況を確認することが効果的です。

そのため、施設管理者が部位ごとの劣化状況の把握方法をマニュアル化し、施設の安全確保につなげます。

#### ② 危険な施設に対する措置

点検・診断等により、高い危険性が認められた施設は、当該箇所に人が近づかないよう措置を行い、場合によっては施設の利用を停止して、安全を確保します。特に落下等の危険性が認められた場合は、速やかに補強等の必要措置を講じます。

また、倒壊の可能性が高い施設や、用途が廃止され、今後も利用される見込みのない老朽化施設等については、安全を確保するため、原則として解体・撤去することで対応します。

#### ③ 耐震性について

石岡運動公園、八郷総合運動公園、石岡海洋センター、朝日スポーツ交流施設は指定避難所、その他の公共施設は情報収集や災害対策指示の拠点など、災害時の拠点施設として活用されます。これら施設の耐震性につきましては確保済みです。

## 第6章 スポーツ施設の対策内容と実施時期

### 3. 工程表

各施設の築年数を考慮した計画は以下のとおりです。

施設名	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
染谷野球場	実施設計委託	施設修繕								
柏原野球公園							大規模改修			
柏原球技公園								大規模改修		
柏原サッカー公園	人工芝化改修							大規模改修		
少年スポーツ広場	施設修繕									
小井戸運動広場			撤去工事	土地返還						
石岡運動公園				実施設計委託	大規模改修					
八郷総合運動公園	実施設計委託	大規模改修			指定管理導入					
石岡市海洋センター	実施設計委託	大規模改修	大規模改修	指定管理導入						
石岡小学校屋内温水プール										
朝日スポーツ交流施設	指定管理導入	中規模修繕								

※実際の施工にあたっては、利用者の利便性・安全性に十分に配慮し、場合によっては複数年に渡り工事を実施することもあります。

### 4. 対策費用

各年度の対策費用は、次のとおりとなります。これは、一部の施設を除き「石岡市公共施設白書」のコスト資産で用いた地域総合整備財団の更新費用資産ソフトの共通資産条件の更新単価（スポーツ・レクリエーション系施設 1㎡における大規模改修費用 200千円）及び計算式を使用し算定しています。

施設名	施設面積 (㎡)	施工内容	対策費用 (千円)
染谷野球場	建物なし	施設修繕工事	10,000
柏原野球公園	761	大規模改修工事	152,200
柏原球技公園	27	大規模改修工事	5,400
柏原サッカー公園	54	大規模改修工事	10,800
少年スポーツ広場	建物なし	施設修繕工事	10,000
小井戸運動公園	建物なし	既存物撤去工事	12,000
石岡運動公園	6,562	大規模改修工事	1,312,400
八郷総合運動公園	3,403	大規模改修工事	680,600
石岡市海洋センター	1,750	大規模改修工事	350,000
朝日スポーツ交流施設	851	大規模改修工事	61,272

※石岡小学校屋内温水プールは学校施設担当課で修繕を行うため計上せず

上記更新単価による算定では、テニスコートやサッカー場、野球場などは建物施設（トイレ、観客席、管理事務所等）以外に係る費用（グラウンド、フェンス、夜間照明等）が表に反映されない。このような費用に対しては別途計上が必要となります。

また、今後の施設の利用状況の変化や利用者からの要望等により、計画にない対応が生じることがあります。

第7章 スポーツ施設の今後の方針と本計画の実現に向けて

1. 今後の方針と本計画の実現に向けて

(1) 施設存続の基本的な考え方

石岡運動公園，柏原野球公園のように利用率が高い施設については，改修や修繕を行いながら長期的な運用を行っていきます。

一方，小井戸運動広場のような利用率が低い施設については，統廃合や運営の移管も考慮し，適切な運用を目指します。

(2) 利用者目線の施設として

誰もが利用しやすい施設とするために，バリアフリーやユニバーサルデザイン化を検討します。

(3) 地域の施設として

市民の利便性や施設の稼働率を高めるため，広域連携についての検討を継続して行います。

2. 計画のフォローアップ

本計画の進行管理は，担当課であるスポーツ振興課が行います。スポーツ振興課は，利用者・競技団体や地域住民の意向等を調査しながら施設の現状を把握するとともに，教育委員会内に設置する石岡市スポーツ推進審議会に報告して意見を頂くことで，施設の管理保全に関する本計画の進行を図っていきます。

